

メールの使いかた

● はじめてEメールを使うときは

Eメール

オンラインサインアップをする

Eメール

お買い上げ後は必ずオンラインサインアップ（無料）を行って、Eメールアドレスを取得していただく必要があります。オンラインサインアップを行わない場合、OperaやEメールがご使用できません。オンラインサインアップの詳細については、簡単操作ガイド「オンラインサインアップをする」(28ページ)をご参照ください。

取得できるEメールアドレスは以下のようになります。

○○○○ @ △△.pdx.ne.jp

ユーザーネーム

お客様が自由に設定できます。

● 半角英数字と「-（ハイフン）」、「_（アンダーバー）」で、4～20文字まで登録できます。

● 1文字目は英字に限ります。

● 英字はすべて小文字として取り扱われます。

ドメイン

ユーザーネーム登録後、自動的に付加されます。

● △△の部分、ウィルコムにより指定された文字列です。

● ご注意

- オンラインサインアップは、電波状態の良い場所で行ってください。電波状態が悪い場所や移動中は、正しい設定ができないことがあります。
- 指定したユーザーネームと同じ名前がすでに登録されている場合、そのユーザーネームは使用できません。別のユーザーネームで登録し直してください。
- ご契約内容によってはオンラインサインアップに接続できない場合があります。

待受画面で または ▶ 「オンラインサインアップ」 ▶ 画面の指示に従って設定 ▶

オンラインサインアップ完了後、

● ご注意

- 機種変更でWX310Kをご使用になる場合、以前にお使いの機種でオンラインサインアップを行っているときも上記の手順で接続し、設定をご確認ください。登録後の設定確認は以下の手順で行うことができます。
待受画面で または ▶ 「オンラインサインアップ」 ▶ 「接続」 ▶ 画面の指示に従って設定を確認
- 他の一般プロバイダーでEメールを使用する場合は、ダイヤルアップ設定および接続設定、メールアカウント設定を行ってください（「アカウントごとの各種設定をする」90ページ）。

● お知らせ

- サインアップ情報を削除するには以下の手順で行います。
待受画面で または ▶ 「オンラインサインアップ」 ▶ 「削除」 ▶ 「はい」

Eメールについて（ウィルコムのエメール）

WX310KでEメールを利用すると、Eメールアドレスを持つ世界中の人とメールをやりとりすることができます。

WX310KでEメールを利用すると、相手から送られてきたEメールはウィルコムのメールサーバーに蓄積されます。電波の届かないところにおいても、電源が入ってなくても、後でウィルコムのメールサーバーから受信することができます。

■ Eメール機能の仕様

項目	送信	受信
件名	全角150文字、半角300文字まで	全角150文字、半角300文字まで
宛先	To、Cc、Bcc含めて、20件まで (1件分は半角64文字まで)	—
本文	全角20,000文字、半角40,000文字まで	全角20,000文字、半角40,000文字まで
添付ファイル	20データまで、合計350Kバイト以内	20データまで、合計350Kバイト以内

- 添付ファイルは送信時にはエンコードされ、実際より大きな容量になります。添付ファイルの容量表示は、データフォルダでの容量とは異なります。
- 送受信時の添付ファイルの容量表示例：約137バイト＝データフォルダ内のデータの容量表示：約100バイト

項目	最大件数	備考
受信メール保存数（保存容量）	900件（102～922Kバイト）*	保護できるのは最大受信件数の半分、または最大受信容量の半分です。
送信メール保存数（保存容量）	900件（102～922Kバイト）*	未送信、送信済および送信失敗を含みません。保護できるのは最大送信件数の半分、または最大送信容量の半分です。

*：最大容量は「Eメール保存容量」で変更することができます（「便利な設定を使う」89ページ）。

🔔 ご注意

- 相手の受信機器によっては、一部正しく表示されない文字があります。
- 送受信できる文字数には、改行も含まれます。

📢 お知らせ

- 相手から送られてきたEメールはウィルコムのメールサーバーに蓄積後、WX310Kに配信されます（オンラインサインアップで「Eメール自動受信」を設定している場合）。ただし、自動受信を設定できるのは、ウィルコムが提供するEメールアドレス（△△.pdx.ne.jp）のみです。WX310Kが電波の届かないところにあるときや、電源をOFFにしているときも、ウィルコムのメールサーバーでお客様に代わってEメールをお預かりしています。お預かりしたEメールがWX310Kで受信されるまで、一定の時間内でウィルコムのメールサーバーに蓄積されたメールの状況をライトメールで繰り返し通知します（オンラインサインアップで「各種通知（未確認メール通知）」を設定している場合）。
- 大きな添付ファイルを受信した場合、正常に受信できない場合があります。その場合、受信行数制限設定（90ページ）を「OFF」に設定してください。

ライトメールについて

ライトメールは、ライトメール対応の電話機どうして文字メッセージをやり取りできます。電話番号を使用するため、オンラインサインアップしてなくても送受信が行えます。

■ ライトメール機能の仕様

メッセージに入力し送信できる文字数は、最大全角45文字、半角90文字までです。

項目	最大件数
受信メール保存数	100件
送信メール保存数	30件

ご注意

- ライトメールを送信するときは、送信先がライトメール対応機種である必要があります。
- WX310Kはフレーム機能とアニメーション絵文字には対応していません。
- ライトメールは、料金分計サービス（200ページ）を使用して送信することはできません。
- Pメール対応電話機に送信する場合、半角のカタカナ／英字／数字／記号のみで20文字まで送信できますが、機種によっては送信できない場合があります。

メールメニューは、メールに関するさまざまな機能の入り口になります。

待受画面で  を押す

以下の項目から選択します。

☑1 受信メール一覧	すべての受信メールが表示されます（「受信メール一覧から受信したメールを読む」80ページ）。	
☑2 Eメール作成	新しくEメールを作成したり、作成中のEメールを編集します（「Eメールを作成して送信する」74ページ）。	
☑3 ライトメール作成	新しくライトメールを作成したり、作成中のライトメールを編集します（「ライトメールを作成して送信する」78ページ）。	
☑4 送信メール一覧	すべての送信メール（送信待ちメールなども含む）が表示されます。	
☑5 Eメール受信	新しくEメールが届いているかどうかを確認します。（「サーバーにEメールがあるかどうかを問い合わせる」81ページ）。	
☑6 Eメール送受信	☑1 送受信	「送信待メール」の送信と、新しくメールが届いているかどうかを確認し、受信を行います。
	☑2 送信	「送信待メール」すべての送信を行います（「送信予約したEメールを送る」77ページ）。
	☑3 受信	新しくメールが届いているかどうかを確認します（「サーバーにEメールがあるかどうかを問い合わせる」81ページ）。
☑7 オンラインサインアップ	Eメールをご利用いただくための設定を行います（「オンラインサインアップをする」28ページ、70ページ）。	
☑8 設定	メール機能の各種設定ができます（「便利な設定を使う」89ページ）。	

お知らせ

- メールメニューは、Eメール/ライトメールを統合したメニュー構成になっています。
- 受信/送信フォルダ設定（「便利な設定を使う」89ページ）を「フォルダ表示」に設定した場合、メールメニューで**☑1**「受信メール一覧」または**☑4**「送信メール一覧」を押すと、受信/送信フォルダ選択画面が表示されます。各フォルダを選択すると、受信/送信したメールの一覧（受信/送信メール一覧画面）が表示されます。

操作	フォルダ名	フォルダ内容
☑1 受信メール一覧	受信フォルダ	受信したメールが保存されています。
	フォルダ1 }	受信したメールが、指定したフォルダに自動的に振り分けて保存されます（「受信メールを自動的にフォルダに振り分ける」93ページ）。
	フォルダ20	
☑4 送信メール一覧	送信済みメール	送信済みのメールが保存されています。
	送信待メール	いつでも送信できるように作成したメール（送信予約したメール）と送信に失敗したメールが保存されています。
	ドラフトメール	作成途中のメールが保存されています。

● Eメールを作成して送信する

Eメール

新しくEメールを作成して送信します。作成したEメールは、すぐに送信せずに保存しておくこともできます。

待受画面で

Eメール作成画面

1 ① ② 「Eメール作成」

Eメール作成画面が表示されます。
以下の項目を入力または選択します。

From (アカウント)	<input checked="" type="radio"/> 【選択】 ▶ リストからアカウントを選択し、 <input type="radio"/> 【選択】 あらかじめメールアカウントを複数登録している場合、Eメールを送信するときに利用するメールアドレスを選択します（「アカウントごとの各種設定をする」90ページ）。
To (宛先入力)	宛先を入力します（「To (宛先) を入力する」75ページ）。
Sub (件名入力)	件名を入力します（「Sub (件名) / 本文を入力する」75ページ）。
添付ファイル追加	添付ファイルをデータフォルダまたはプロフィールから選択します（「データを添付する」76ページ）。
本文入力	本文を入力します（「Sub (件名) / 本文を入力する」75ページ）。
送信	作成したEメールを送信します。



2 「送信」を選択し、 【選択】

送信したEメールは、「送信メール一覧」の「全送信メール」（一覧表示）に表示されます。



- ウィルコムが提供するEメールを送信する場合は、メール接続先を「CLUB AIR-EDGE」に設定してください（「接続先を設定する」92ページ）。
- 「送信フォルダ設定」（89ページ）を「フォルダ表示」に設定している場合、送信したEメールは「送信済メール」に保存されます。
- Eメール作成中に着信したり、 を押して作成を中断した場合は、作成していたEメール内容は一時的に保存されます。再度、Eメール作成を開始すると「作成中のメールを使用しますか?」と表示されます。
③① 「はい」を押すと、作成を再開できます。
- Eメール作成画面で③② 【メニュー】を押すと、以下の項目が表示されます。表示される内容または選択できる項目は、選択している項目により異なります。

③① 記号*	記号を選択します（56ページ）。	
③② 定型文*	定型文を選択します（56ページ）。	
③③ 絵文字/顔文字*	絵文字/顔文字を選択します（56ページ）。	
③④ コピー/カット*	文字をコピー/カットします（57ページ）。	
③⑤ 貼り付け*	コピー/カットした文字を貼り付けます（57ページ）。	
③⑥ 引用*	③⑥ アドレス帳	▶ 引用したいテキストや項目を選択し、 <input checked="" type="radio"/> 【選択】
	③⑦ プロフィール	テキストや電話番号、Eメールアドレスなどを呼び出して件名や本文に入力します。③④ 「ブックマーク」は、本文入力中のみ表示されます。
	③④ ブックマーク	
	③⑤ メモ帳*	

Eメール引用 [※]	F1 アドレス帳	▶ 引用したいEメールアドレスを選択し、 <input checked="" type="radio"/> 【選択】 Eメールアドレスを呼び出して宛先に入力します。ここで入力した宛先は、すべてTo宛先（通常の宛先）として登録されます。
	F2 送信履歴	
	F3 プロフィール	
F7 保存	作成したメールを「ドラフトメール」保存します（「作成したEメールを保存／送信予約する」77ページ）。	
F8 送信予約	作成したメールを「送信待メール」へ保存します（「作成したEメールを保存／送信予約する」77ページ）。「一括送信」（86ページ）、「送受信」（73ページ）でまとめて送信することができます。	

※1：「 Sub（件名入力）」を選択しているとき、または「本文」入力中のみ表示されます。

※2：半角カタカナの引用はできません。

※3：「 To（宛先入力）」を選択しているときのみ表示されます。

To（宛先）を入力する

Eメール

宛先はTo、Cc、Bccを含めて20件入力できます。入力できる文字数は1件につき半角64文字までです。

Eメール作成画面で To（宛先入力）を選択し、【選択】 ▶ 宛先を入力し、【確定】

宛先一覧画面



- 複数のEメールアドレスを入力する場合は、宛先一覧画面で再度「 To（宛先入力）」を選択します。また、Eメールアドレスを「,」（カンマ）で区切っても複数の宛先を入力できます（64文字以内）。

- 文字入力の方法については、「文字の入力と設定」（54ページ）をご参照ください。

- 入力した宛先をCcやBccに変更する場合は、以下の操作を行います。

宛先一覧画面で変更したい宛先を選択 ▶ 【メニュー】 ▶ 【Ccへ変更】または【Bccへ変更】

- To、Cc、Bccについては下記をご参照ください。



● Eメールを作成して送信する

To	To	通常の宛先です。
Cc	Cc	メールの内容を複数の宛先にコピーして送る場合に使用します。受信者は他の受信者を知ることができます。Toは直接の宛先、Ccは参考までにといったニュアンスがあります。
Bcc	Bcc	メールの内容を複数の宛先にコピーして送る場合に使用します。Ccとは異なり、Bccで送った宛先は送信メールに表示されないため、受信者に知られたくない宛先に送る場合に使用します。送信先のEメールアドレスを、Toも含めて誰にも知られたくない場合は、Toにお客様のアドレス、Bccに送信先のアドレスを入力します。

Sub（件名）／本文を入力する

Eメール

件名および本文を入力します。件名は全角150文字、半角300文字まで、本文は全角20,000文字、半角40,000文字まで入力できます。

Eメール作成画面で Sub（件名入力）を選択し、件名を入力 ▶ 【本文入力】を選択し、

【選択】 ▶ 本文を入力し、【確定】



- 件名／本文に半角カナを使用することはできません。

- 入力可能な文字種／文字数は、WX310Kから送信／受信可能かどうかの基準です。Eメールを作成するときは、相手先が受信可能な文字種／文字数についてもご確認ください。

・ PHS（同機種を含む）や携帯電話、またはパソコンなどに絵文字を入れて送信すると、正しく表示されない場合があります。

・ PHSや携帯電話、またはパソコンなどに送信した場合、件名や本文の文字数によっては、相手先で文章が途中で切れてしまう可能性があります。



- 文字入力の方法については、「文字の入力と設定」（54ページ）をご参照ください。

- 件名や本文を入力するときは、文字入力メニューを利用してさまざまな方法で引用や入力ができます（「文字入力メニューを使う」56ページ）。

データを添付する

Eメール

データフォルダから、最大350Kバイトまでのデータを選択し、Eメールに添付することができます。添付できるデータ数に制限はありませんが、Eメールの保存容量に依存します（「便利な設定を使う」89ページ）。

添付可能なデータは以下のとおりです。

アイコンとデータの種類	保存されているフォルダ	拡張子
画像	画像	.jpg、.jpeg、.gif、.png、.bmp
サウンド（MIDIファイル）	サウンド	.mid、.midi
サウンド（feelsoundファイル）	サウンド	.dxm
HTML	インターネット	.htm、.html
vCard（アドレスカード）	名刺／予定	.vcf
vCalendar（スケジュール・TODO）	名刺／予定	.vcs
その他のファイル	その他	.txt、上記以外のファイル形式

● ご注意

- 著作権保護が設定されたファイルは添付できません。
- WX310Kで利用／表示できないファイル形式でも、Eメールに添付することができます。

Eメール作成画面で

1 「（添付ファイル追加）」を選択し、「【選択】」

以下の項目から選択します。

データフォルダ	▶ 添付するデータを選択し、「【選択】」 データフォルダのデータを添付します。
プロフィール	電話番号などのプロフィール情報をvCard形式で添付します。

2 【戻る】を押す

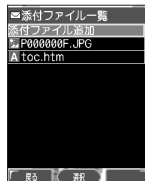
お知らせ

- 複数のファイルを添付する場合は、添付ファイル一覧画面で「添付ファイル追加」を選択し、「【選択】」を押します。
- 添付ファイル一覧画面で【再生】を押すと、添付したファイルを再生して内容を確認できます。また、「【削除】」を押すと、添付を解除できます。

添付選択画面



添付ファイル一覧画面



作成したEメールを保存／送信予約する

Eメール

Eメール作成画面で 【メニュー】 ▶ 「保存」または 「送信予約」

保存または送信予約をしたEメールは、「全送信メール」（一覧表示）に保存されます。

お知らせ

- 「送信フォルダ設定」（89ページ）を「フォルダ表示」に設定している場合、Eメールは以下のフォルダに保存されます。
 - ・「保存」したEメール：「ドラフトメール」
 - ・「送信予約」したEメール：「送信待メール」
- 「保存」または「送信予約」したEメールを後で編集したり、送信することができます（「保存したEメールを編集して送信する」同ページ参照、「送信予約したEメールを送る」同ページ参照）。

保存したEメールを編集して送信する

Eメール

待受画面で

1 ▶ 「送信メール一覧」 ▶ 保存メールを選択 ▶ 【メニュー】 ▶ 「編集」

新規作成の場合と同様に、編集したい項目を選択し、内容を編集することができます。

2 Eメールを編集 ▶ 「送信」を選択し、【選択】

新規作成の場合と同様に、送信せずに再保存することもできます（「作成したEメールを保存／送信予約する」同ページ参照）。また、編集せずに送信することもできます。

お知らせ

- 「送信フォルダ設定」（89ページ）を「フォルダ表示」に設定している場合、保存したEメールは、「ドラフトメール」（フォルダ表示）に保存されます。

送信予約したEメールを送る

Eメール

「送信予約」したEメールは、まとめて送ることができます。

待受画面で ▶ 「Eメール送受信」 ▶ 「送信」

お知らせ

- 「送信フォルダ設定」（89ページ）を「フォルダ表示」に設定している場合、「送信予約」したEメールは、「送信待メール」に保存されます。

● ライトメールを作成して送信する

ライトメール

新しくライトメールを作成して送信します。作成したライトメールは、すぐに送信せずに保存しておくこともできます。

待受画面で ▶ ▶ **ライトメール作成** ▶ **宛先電話番号を入力し、** ▶

ライトメール
作成画面

本文を入力し、 **【送信】** または

送信したライトメールは、「送信メール一覧」の「全送信メール」（一覧表示）に保存されます。

ご注意

- 相手の電話機の状態が、留守番電話サービス中／電源が入っていない／通話圏外／通話中のときは、ライトメールを送信しても相手に受信されません。
- 相手の電話機がライトメール非対応の場合は、ライトメールを送信しても通常の着信動作を行います。
- 相手の電話機の種類によっては一部表示できない文字があります。
- 送信メールは、30件まで保存されます。30件を超えると古いメールから自動的に削除されます。
- ライトメールは分計発信（200ページ）を使用してメールを送信することはできません。
- 通話中は、ライトメールを送信することはできません。

お知らせ

- 「送信フォルダ設定」（89ページ）を「フォルダ表示」に設定している場合、送信したライトメールは「送信済メール」に保存されます。送信に失敗したライトメールは、「送信待メール」に保存されます。
- 電話番号に入力できる桁数は32桁までです。
- 本文に入力できる文字数は全角45文字、半角90文字までです。
- 文字入力の方法については、「文字の入力と設定」（54ページ）をご参照ください。
- 本文を入力するときは、文字入力メニューを利用してさまざまな方法で引用や入力ができます（「文字入力メニューを使う」56ページ）。また、発信方法の選択や、作成途中のライトメールの保存などができます（「作成したライトメールを保存する」79ページ）。
- ライトメール作成中に着信したり、を押して作成を中断した場合は、作成していたライトメール内容は一時的に保存されます。再度、ライトメール作成を開始すると「作成中のメールを使用しますか？」と表示されません。「はい」を押すと、作成を再開できます。
- 送信に失敗したライトメールは、保存メールを選択した後、 **【メニュー】** から「送信」を選択すると、あらためて送信できます。
- （宛先入力）を選択中に **【メニュー】** を押すと、以下の項目が表示されます。



引用	① アドレス帳	▶ 引用したい項目を選択し、 【選択】
	② 送信履歴	アドレス帳、送信履歴、発信履歴、着信履歴、ダイヤルメモ、プロフィールに登録されている内容呼び出して、電話番号を入力することができます。
	③ 発信履歴	
	④ 着信履歴	
	⑤ ダイヤルメモ	
	⑥ プロフィール	
⑦ 保存	作成したライトメールを保存します（「作成したライトメールを保存する」79ページ）。	
⑧ 184発信	作成したライトメールを自分の電話番号を通知しないで送信します。	
⑨ 186発信	作成したライトメールを自分の電話番号を通知して送信します。	

● ライトメールを作成して送信する

作成したライトメールを保存する

ライトメール作成画面で [メニュー] ▶ 「保存」

保存したライトメールは、「全送信メール」（一覧表示）に保存されます。

お知らせ

- 「送信フォルダ設定」（89ページ）を「フォルダ表示」に設定している場合、保存したライトメールは「ドラフトメール」に保存されます。

保存したライトメールを編集して送信する

待受画面で

1 ▶ 「送信メール一覧」 ▶ 保存メールを選択 ▶ [メニュー] ▶ 「編集」

新規作成の場合と同様に、編集したい項目を選択し、内容を編集することができます。

2 編集後、 [送信] または

新規作成の場合と同様に、送信せずに再保存することもできます（「作成したライトメールを保存する」同ページ参照）。また、編集せずに送信することもできます。

お知らせ

- 「送信フォルダ設定」（89ページ）を「フォルダ表示」に設定している場合、保存したライトメールは、「ドラフトメール」に保存されます。
- 送信済ライトメールは、新たな送信済メールとして新規保存されます。

メールを受信／返信／転送する

受信したメールを読む

■ メールを自動的に受信して読む（パッとみえる）

Eメールやライトメールを受信した場合、メール受信音や待受画面の表示で、メールの受信をお知らせします。「パッとみえる」とは、この新着情報表示で 【選択】 を押すだけで最新のメールを見ることができる機能です。

待受画面（新着情報表示画面）で 新着情報表示を確認し、 【選択】 または

新着情報表示画面

ご注意

- 自動受信できるEメールはウィルコムが提供するEメールのアカウントに限られます。自動受信をするには、オンラインサインアップ（28ページ、70ページ）でEメール自動受信の設定を行ったうえで「Eメール自動受信機能」（91ページ）の設定を行ってください。
- 待受画面（新着情報表示画面）で または を押した場合は、「パッとみえる」が使用できなくなります。この場合は、「受信メール一覧」から確認できます（「受信メール一覧から受信したメールを読む」80ページ）。

お知らせ

- 新着メールが複数ある場合もEメール／ライトメールを問わず、最新のメールの内容のみが表示されます。
- その他に未読メールがある場合は、「受信メール一覧」から確認できます（「受信メール一覧から受信したメールを読む」80ページ）。
- 「不在着信 △件」と「新着メール △件」が同時に表示されているとき、 を押すと、新着メールのみを確認することができます。
- パケット通信中のメール受信設定を「起動」にしていると、パケット通信中でもEメール／ライトメールを受信できます（「通信中のメール受信を設定する」173ページ）。
- メール起動中、「パッとみえる」は無効になります。



■ 受信メール一覧から受信したメールを読む

受信したメールは「受信メール一覧」の「全受信メール」（一覧表示）に保存されます。確認したい受信メールを選択すると、内容が表示されます。

待受画面で ▶ 「受信メール一覧」 ▶ 「選択」

選択した受信メールの内容が表示されます（受信メール詳細画面）。

お知らせ

● 「受信フォルダ設定」（89ページ）を「フォルダ表示」に設定している場合、受信したメールは「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」に保存されます。受信メールのフォルダ自動振り分けについては、「受信メールを自動的にフォルダに振り分ける」（93ページ）をご参照ください。

● 受信メール詳細画面では、以下の操作を行うことができます。

- ・ : 1行ずつ表示をスクロールします。
- ・ : 前後のメールを表示します。
- ・ (PAGE) : 次のページへスクロールします。
- ・ (PAGE) : 前のページへスクロールします。
- ・ : メール一覧画面に戻ります。
- ・ : 待受画面に戻ります。
- ・ 【メニュー】 : メニューを表示し、メールの返信や削除など、さまざまな機能をご使用できます。（「受信メール/送信メール詳細画面のメニューを使う」87ページ）。

● 保存している受信メールの容量が最大保存量を超えると、既読の古いメール（保護されていないメール）から自動的に削除されます。

● ライトメールの受信メールは100件まで保存されます。100件を超えると既読の古いメール（保護されていないメール）から自動的に削除されます。

● 受信ボックスでは、Eメール/ライトメールを統合して取り扱います。受信したメールの種別はアイコンで判断できます。

● 受信メール詳細画面の本文中に、URL、Eメールアドレス、電話番号がある場合、それらの文字列を選択し、 【選択】を押すと、直接インターネットへのアクセスや、Eメール/ライトメールの作成、電話の発信などが行えます（「メール本文の電話番号/Eメールアドレス/URLを直接利用する」84ページ）。また、送信済メールや送信待メールの場合も同様に行えます。

メール本文中の文字列	できること
URL	URLページへ接続、ブックマーク登録、アドレス帳登録（新規登録/追加登録）
Eメールアドレス	アドレス帳登録（新規登録/追加登録）、Eメール作成
電話番号	アドレス帳登録（新規登録/追加登録）、発信（通常発信/特番付発信）、ライトメール作成

● 各画面のアイコン表示は、以下のとおりです。

■ 受信/送信ボックス画面（フォルダ表示）のアイコン

	受信/送信フォルダ : 受信/送信メールが一切保存されていない場合 フォルダ1～20 : 受信メールが一切保存されていない場合
	受信/送信フォルダ : 受信/送信メールが1件以上保存されていて、すべて既読の場合 フォルダ1～20 : 受信メールが1件以上保存されていて、すべて既読の場合
	受信フォルダ : 未読メールがある場合 フォルダ1～20 : 未読メールがある場合

全受信メール画面
(受信メール一覧画面)



受信メール詳細画面
(例: ライトメール)



■メール一覧画面のアイコン	
	未読ライトメール／送信待ライトメール
	未読Eメール／送信待Eメール
	既読ライトメール／ドラフトライトメール
	既読Eメール／ドラフトEメール
	送信済Eメール
	送信済ライトメール
■メール詳細画面のアイコン	
	宛先
	差出人：名前または、Eメールアドレス
	受信／送信日時
	件名
	添付ファイル

サーバーにEメールがあるかどうかを問い合わせる

Eメール

サーバーに新しいEメールが届いているかどうかを確認し、Eメールが届いている場合は受信をします。「Eメール自動受信機能」(91ページ)の「Eメール自動受信」の設定にかかわらず、任意のタイミング(電波の届かない場所にいた後など)でEメールを受信することができます。

待受画面で を長く(1秒以上) 押す

ご注意

● Eメール受信について

- ・文字数が多いEメールの場合、表示に時間がかかることがあります。
- ・一部の文字を変更したり、画像ファイル付きEメールは正常に表示できない場合があります。
- ・受信したEメールの内容によっては、正常に表示できない場合があります。

お知らせ

- 上記手順は、センターキー長押し割り当てを「Eメール受信」に設定した場合のみ行えます(「センターキーの長押しに機能を設定する」177ページ)。
- 新着Eメールを確認するには、以下の操作でも行えます。
待受画面で ▶ 「Eメール受信」
または
待受画面で ▶ 「Eメール送受信」 ▶ 「受信」
- Eメール受信中、画面の下部に「△△△/○○○件」と数値が表示されます。これは、「受信中のメール数」を表しています。
- メール一覧画面では、画面の右上に「未：△△△件」と数値が表示されます。これは、「未読メール数」を表しています。
- 未読メールがある場合、メインディスプレイに「」が表示されます。
- Eメール自動受信に失敗したときは、メインディスプレイに「」が表示されます。電波状態の良い場所で「Eメール受信」をやり直してください。

添付ファイルを表示／再生／保存する

Eメール

受信メール一覧画面または受信メール詳細画面から、添付ファイルの一覧を表示することができます。添付ファイル一覧画面では、添付ファイルの表示／再生の他、添付ファイルを本体メモリまたはminiSDカードへ保存することができます。

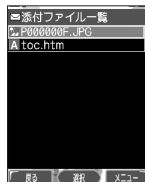
受信メール一覧画面／受信メール詳細画面で 【メニュー】 ▶ 【添付ファイル】

添付ファイル
一覧画面

▶ 添付ファイルを選択 ▶ 【メニュー】

以下の項目から選択します。

保存	(▶ 「本体メモリ」または 「miniSD」) * ▶ ファイル名を確認または修正し、 【保存】 ▶ 【はい】 選択した添付ファイルをデータフォルダに保存します。
詳細表示	選択した添付ファイルの詳細情報を表示します。



* : miniSDカード挿入時のみ表示されます。データの保存先を選択します。

ご注意

● WX310Kで取り扱うことのできる添付ファイルのみ、表示／再生することができます。

お知らせ

● 添付ファイル一覧画面からの表示／再生は、以下の手順で行います。
添付ファイル一覧画面でデータを選択し、 【選択】

受信したEメールに返信する

Eメール

受信したEメールに返信します。「返信」は差出人に返信されます。Reply-Toが設定されている場合には、そのメールアドレスに返信します。「全員に返信」は受信メールに含まれる複数の宛先 (Cc含む) に返信します。

受信メール一覧画面／受信メール詳細画面で 【メニュー】 ▶ 【返信】または 【全員に返信】 ▶

本文を編集 ▶ 【送信】を選択し、 【選択】

お知らせ

- 返信時は、件名の先頭に自動的に「Re :」を付加します。
 - ・ 「Re :」が付加された結果、件名として文字数が入力可能文字数を超過してしまう場合は、件名の末尾から削除されます。
 - ・ 別の件名に編集することもできます。
 - ・すでに「Re :」が付加されている受信メールへの返信では、「Re :」を付加しません。
- 返信時に、受信メールの本文を引用して返信メールの本文に付加することができます (「アカウントごとの各種設定をする」90ページ)。
- 引用した件名／本文などに、WX310Kで表示できない文字が含まれている場合、スペースに置き換えて引用されることがあります。また、半角カナは全角カナに置き換えられます。
- 【全員へ返信】の場合、差出人以外はCc宛先になります。

受信したライトメールに返信する

ライトメール

受信したライトメールに返信します。ライトEメールに設定している場合は、返信できません。

受信メール一覧画面/受信メール詳細画面で 【メニュー】 ▶ ① 【返信】 ▶ **本文を編集** ▶

送信 または

ご注意

- 受信したライトメールを、Eメールで返信することはできません。
- オンラインサインアップ時に、ライトEメールで受信する設定を行っている場合は、ライトメールへの返信はできません。

お知らせ

- 「ライトメールメッセージ引用」を「ON」にしている場合、返信メールの本文には、設定により受信メール本文が自動的に引用されます（「ライトメールの設定をする」92ページ）。

受信したEメールを転送する

Eメール

受信したEメールを、他のEメールアドレスに転送することができます。

受信メール一覧画面/受信メール詳細画面で 【メニュー】 ▶ ③ 【転送】 ▶ **宛名と本文を編集** ▶

送信 を選択し、 **選択**

ご注意

- 受信したライトメールを、Eメールで転送することはできません。また、受信したEメールを、ライトメールで転送することはできません。

お知らせ

- 転送時は、件名の先頭に自動的に「Fw:」を付加します。
 - ・ 「Fw:」が付加された結果、件名の文字数が入力可能文字数を超過してしまう場合は、件名の末尾から削除されます。
 - ・ 別の件名に編集することもできます。
 - ・ すでに「Fw:」が付加されている受信メールの転送では、「Fw:」を付加しません。
- 転送時に、受信メールの本文を引用して転送メールの本文に付加することができます（「アカウントごとの各種設定をする」90ページ）。
- 引用した件名/本文などに、WX310Kで表示できない文字が含まれている場合、スペースに置き換えて引用されることがあります。また、半角カナは全角カナに置き換えられます。
- 受信メールの送信/受信者の情報（To、From、Cc、Reply-To）は引用されません。

受信したライトメールを転送する

ライトメール

受信したライトメールを、他のライトメール対応電話機に転送することができます。

全受信メール画面/受信メール詳細画面で 【メニュー】 ▶ ③ 【転送】 ▶ **宛名と本文を編集** ▶

送信 または

ご注意

- 受信したライトメールを、Eメールで転送することはできません。

受信メール／送信メールの宛先一覧画面のメニューを使う

受信メール／送信メール一覧画面、詳細画面から、受信メール／送信メールの宛先一覧画面のメニューを表示することができます。

受信／送信メール一覧画面 / 受信／送信メール詳細画面で

【メニュー】 ▶ 「宛先一覧」を選択し、

【選択】 ▶ Eメールアドレスまたは電話番号を選択 ▶ 【メニュー】

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

アドレス帳へ登録	新規	選択した宛先のEメールアドレスや電話番号をアドレス帳に新規登録します（「アドレス帳の各項目を登録する」60ページ）。
	追加	▶ アドレス帳を選択し、 【選択】 ▶ 登録先を「Eメールアドレス1～3」または「電話番号1～3」から選択し、 【登録】 または 【はい】 すでに登録されているアドレス帳データに、Eメールアドレスや電話番号を追加登録します。
発信*1	▶ 【発信】を押す	選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。
ライトメール作成*1		選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」78ページ）。
Eメール作成*2		選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメールを作成して送信する」74ページ）。

*1：電話番号を選択している場合のみ表示されます。

*2：Eメールアドレスを選択している場合のみ表示されます。

メール本文の電話番号／Eメールアドレス／URLを直接利用する

メール本文に、電話番号やEメールアドレス、URLがある場合、それらの文字列は反転表示され、直接電話をかけたり、Eメールやライトメールの作成、URL接続などを行えます。

受信／送信メール一覧画面で

本文中の電話番号／Eメールアドレス／URLを選択し、 【選択】

以下の項目から選択します。

電話番号を選択した場合	発信	▶ 【発信】を押す 選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。	
	アドレス帳へ登録	新規	選択した電話番号をアドレス帳に新規登録します（「アドレス帳の各項目を登録する」60ページ）。
		追加	▶ アドレス帳を選択し、 【選択】 ▶ 登録先を「電話番号1～3」から選択し、 【登録】 または 【はい】 すでに登録されているアドレス帳データに、電話番号を追加登録します。
	ライトメール作成		選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」78ページ）。

Eメールアドレスを選択した場合	F11 アドレス帳へ登録	F11 新規	選択したEメールアドレスをアドレス帳に新規登録します（「アドレス帳の各項目を登録する」60ページ）。
		F2 追加	<p>◆ アドレス帳を選択し、<input type="radio"/>【選択】◆登録先を「Eメールアドレス1～3」から選択し、<input type="radio"/>【選択】◆<input type="radio"/>【登録】または<input type="checkbox"/>【登録】◆F11「はい」</p> <p>すでに登録されているアドレス帳データに、Eメールアドレスを追加登録します。</p>
	F2 Eメール作成		選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（Eメールを作成して送信する」74ページ）。
URLを選択した場合	F11 アドレス帳へ登録	F11 新規	選択したURLをアドレス帳に新規登録します（「アドレス帳の各項目を登録する」60ページ）。
		F2 追加	<p>◆ アドレス帳を選択し、<input type="radio"/>【選択】◆<input type="radio"/>【登録】または<input type="checkbox"/>【登録】◆F11「はい」</p> <p>すでに登録されているアドレス帳データに、URLを追加登録します。</p>
	F2 URLページへ接続		選択したURLのWebページをOperaブラウザで表示します。
	F3 ブックマークへ登録	◆ タイトルを入力し、 <input type="radio"/> 【登録】	選択したURLをブックマークに登録します。

● メールを管理する

Eメール **ライト**メール

● 受信メールの管理について

- ・受信したメールは「全受信メール」（一覧表示）に保存されています。
- ・「受信フォルダ設定」（89ページ）を「フォルダ表示」に設定している場合、Eメールは「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」のそれぞれに保存されます。
- ・「全受信メール」、「受信ボックス」、「受信フォルダ」、「フォルダ1」～「フォルダ20」、および「受信メール詳細」のそれぞれの画面でメールの削除や編集などの管理ができます。「受信フォルダ」、「フォルダ1」～「フォルダ20」については、フォルダ間のメールの移動なども行えます。

● 送信メールの管理

- ・送信したメールは「全送信メール」（一覧表示）に保存され、未送信のメールや送信に失敗したメールも一緒に保存されます。
- ・「送信フォルダ設定」（89ページ）を「フォルダ表示」に設定している場合、Eメール／ライトメールは以下のフォルダにそれぞれ保存されます。
 - ・送信に成功したメール：「送信済メール」
 - ・送信に失敗したメール：「送信待メール」
 - ・送信せずに保存したメール：「ドラフトメール」
- ・「全送信メール」、「送信ボックス」、「送信済メール」、「送信待メール」、「ドラフトメール」、および「送信メール詳細画面」のそれぞれでメールの削除や編集などの管理ができます。

受信ボックス／送信ボックス（フォルダ表示）画面のメニューを使う

「受信フォルダ設定」／「送信フォルダ設定」（89ページ）を「フォルダ表示」に設定している場合、以下の操作が行えます。

待受画面で ▶ **[メニュー]** ▶ **「フォルダ内メール全削除」** ▶ **「暗証番号を入力」** ▶ **「はい」**

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している画面により異なります。

お知らせ

- **「はい」** 「フォルダ内メール全削除」で、削除対象に保護メール（「メールを保護する」88ページ）が含まれているときは、「保護メールも削除しますか？」と表示され、以下から選択します。

はい	保護メールを含めて削除します。
いいえ	保護メール以外を削除します。
削除を中止	削除操作を中止します。

受信メール／送信メール一覧画面のメニューを使う

受信／送信メール一覧画面で **[メニュー]** を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している画面により異なります。

返信* ¹	差出人に返信します（「受信したEメールに返信する」82ページ、「受信したライトメールに返信する」83ページ）。	
全員に返信* ^{1*2}	選択した受信メールの差出人およびTo、Ccに設定されているEメールアドレスに返信します（「受信したEメールに返信する」82ページ）。	
送信* ³	選択しているメールを送信します。	
一括送信* ^{3*4}	すべてのメールを送信します。	
編集* ³	選択したメールを編集します（「保存したEメールを編集して送信する」77ページ、「保存したライトメールを編集して送信する」79ページ）。	
転送	選択したメールを転送します（「受信したEメールを転送する」83ページ、「受信したライトメールを転送する」83ページ）。	
宛先一覧	選択したメールの宛先の一覧を表示します（「受信メール／送信メールの宛先一覧画面のメニューを使う」84ページ）。	
添付ファイル* ⁵	選択したEメールの添付ファイルを一覧表示します（「添付ファイルを表示／再生／保存する」82ページ）。	
保護	選択したメールを保護します（「メールを保護する」88ページ）。	
並び替え	日付順	メールを日付の新しい順に並び替えます。
	宛先順 * ³	メールを送信先の宛先順に並び替えます。
	送信者順 * ¹	メールを送信者の宛先順に並び替えます。
	未読／既読 * ¹	受信メールを未読メール→既読メール（それぞれ日付の新しい順に並び替え）の順に並び替えます。

行数切り替え お買い上げ時： 「3行表示」	<p>◆ <input type="checkbox"/> 「1行表示」または<input type="checkbox"/> 「3行表示」</p> <p>メール一覧の表示を「1行表示」または「3行表示」に切り替えます。 「1行表示」では <input type="checkbox"/> を押すごとに、受信・送信相手／件名／本文を切り替えることができます。</p>
削除	メールを削除します（「メールを削除する」88ページ）。

- *1: 受信メール一覧画面の場合のみ表示されます。
- *2: ライトメール選択時は表示されません。
- *3: 送信メール一覧画面の場合のみ表示されます。
- *4: 送信待ちメールがある場合のみ表示されます。
- *5: メールに添付ファイルがある場合のみ表示されます。

受信メール／送信メール詳細画面のメニューを使う



受信／送信メール詳細画面で 【メニュー】を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している画面により異なります。

返信*1	差出人に返信します（「受信したEメールに返信する」82ページ、「受信したライトメールに返信する」83ページ）。
全員に返信*1*2	差出人および受信メールでTo、Ccに設定されていたEメールアドレスに返信します（「受信したEメールに返信する」82ページ）。
送信*3	表示しているメールを送信します。
転送	表示しているメールを転送します（「受信したEメールを転送する」83ページ、「受信したライトメールを転送する」83ページ）。
編集*3	表示しているメールを編集します（「保存したEメールを編集して送信する」77ページ、「保存したライトメールを編集して送信する」79ページ）。
宛先一覧	表示しているメールの宛先の一覧を表示します（「受信メール／送信メールの宛先一覧画面のメニューを使う」84ページ）。
添付ファイル*4	表示しているEメールの添付ファイルを一覧表示します（「添付ファイルを表示／再生／保存する」82ページ）。
文字サイズ お買い上げ時： 「小」	<p>◆ <input type="checkbox"/> 「最小」、<input type="checkbox"/> 「小」、<input type="checkbox"/> 「中」、または<input type="checkbox"/> 「大」</p> <p>メールを表示する際の、文字の大きさを変更します。</p>
コピー*5	<p>◆ コピー範囲の始点を選択し、<input type="checkbox"/> 【始点】 ◆ 終点を選択し、<input type="checkbox"/> 【終点】</p> <p>メールの本文と件名をコピーします（全角、半角共に128文字まで）。</p>
保護	表示している受信メールを保護します（「メールを保護する」88ページ）。
削除	<p>◆ <input type="checkbox"/> 「はい」を押す</p> <p>表示している受信メールを削除します。</p>

- *1: 受信メール詳細画面の場合のみ表示されます。
- *2: ライトメール選択時は表示されません。
- *3: 送信メール詳細画面の場合のみ表示されます。
- *4: メールに添付ファイルがある場合のみ表示されます。
- *5: 本文または件名を選択している場合のみ表示されます。

メールを削除する

例：メール一覧画面からメールを削除する

受信/送信メール一覧画面で [メニュー] ▶ 「削除」

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 件	選択したメールを削除します（「各機能の情報を削除する」185ページ）。
<input type="checkbox"/> 2 選択	複数のメールを選択して削除します（「各機能の情報を削除する」185ページ）。
<input type="checkbox"/> 3 全件	フォルダ内のすべてのメールを削除します（「各機能の情報を削除する」185ページ）。

例：メールをまとめて削除する

待受画面で

1 ▶ 「設定」 ▶ 「メール削除」

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 全メール削除	すべてのメールを削除します。またメール容量配分設定もクリアされます。
<input type="checkbox"/> 2 受信メール全削除	すべての受信メールを削除します。
<input type="checkbox"/> 3 送信済メール全削除	すべての送信済メールを削除します。
<input type="checkbox"/> 4 送信待メール全削除	すべての送信待メールを削除します。
<input type="checkbox"/> 5 ドラフトメール全削除	すべてのドラフトメールを削除します。
<input type="checkbox"/> 6 送信履歴全削除	すべての送信履歴を削除します。

2 「はい」を押す

ご注意

- 一度削除したメールは復元できません。まとめて削除する場合はとくにご注意ください。

お知らせ

- 削除対象に保護メール（「メールを保護する」同ページ参照）が含まれているときは、「保護メールも削除しますか？」と表示され、以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 はい	保護メールを含めて削除します。
<input type="checkbox"/> 2 いいえ	保護メール以外を削除します。
<input type="checkbox"/> 3 削除を中止	削除操作を中止します。

メールを保護する

送受信したメールが、WX310Kの最大件数または最大容量を超えると、送受信日時の古い既読メールから自動的に削除されます。大事なメールが自動削除されたり、誤って削除しないようにするためには、保護を設定します。

例：メール一覧画面でメールを保護する

受信/送信メール一覧画面で [メニュー] ▶ 「保護」



- 保護されたメールには、「**A**」が表示されます。
- Eメール保護設定の最大件数または最大容量は、450件または450Kバイトです。ただし、メール容量配分設定（「便利な設定を使う」同ページ参照）で変更した場合は、最大件数または最大容量の半分となります。
- 保護の解除は、以下の手順で行います。
受信/送信メール一覧画面で保護を解除したいメールを選択 ▶ **C**【メニュー】 ▶ **E8**【保護】

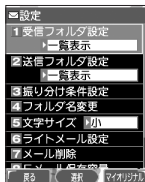
● 便利な設定を使う



メール機能に関する各種設定を行います。

メール設定画面

待受画面で ▶ **E8**【設定】



以下の項目から選択します。

E1 受信フォルダ設定 お買い上げ時： 「一覧表示」	E1 フォルダ表示	受信メールを各フォルダに分けて表示します。
	E2 一覧表示	すべての受信メールを表示します。
E2 送信フォルダ設定 お買い上げ時： 「一覧表示」	E1 フォルダ表示	送信メールを各フォルダに分けて表示します。
	E2 一覧表示	すべての送信メールを表示します。
E3 振り分け条件設定	自動的に受信メールをフォルダに振り分けるように設定します（「受信メールを自動的にフォルダに振り分ける」93ページ）。	
E4 フォルダ名変更	▶ 変更するフォルダを選択し、フォルダ名を入力 ▶ C 【戻る】 受信ボックスのフォルダ名を変更します。	
E5 文字サイズ お買い上げ時： 「小」	▶ E1 「最小」、 E2 「小」、 E3 「中」、または E4 「大」 メールを表示する際の文字の大きさを変更します。	
E6 ライトメール設定	ライトメール送信時の確認音と、返信時に返信元のメールの本文を自動的に引用して挿入するかどうかの設定をします（「ライトメールの設定をする」92ページ）。	
E7 メール削除	メールや送信履歴をまとめて削除します（「メールを削除する」88ページ）。	
E8 Eメール保存容量	▶ <input type="checkbox"/> で配分を設定し、 <input checked="" type="checkbox"/> 【選択】 受信ボックスと送信ボックスの保存容量を配分します。保存容量の配分によっては、メールの送受信ができない場合があります。ご利用に合わせて配分を変更してください。	
E9 接続先/アカウント設定	メール接続先の選択、アカウントの各種設定、送信/受信メールアカウント設定を行います（「接続先を設定する」92ページ）。	



- 受信/送信フォルダ設定を**E1**「フォルダ表示」に設定すると、すべてのメールはフォルダに保存されます。受信/送信フォルダの設定を**E2**「一覧表示」に設定した場合は、メールを選択する手順が異なります（「メールメニューについて」73ページ）。

アカウントごとの各種設定をする

Eメール

WX310Kに登録されているメールアカウントごとに、差出人名や署名などの各種設定をします。オンラインサインアップで取得したウィルコムが提供するEメールのアカウント(△△.pdx.ne.jp)の場合は、Eメールの自動受信に関する設定もここで行えます。一般プロバイダーのアカウントを使用する場合は、追加アカウントとして手動でEメールアドレスなどの情報を登録しておく必要があります(「ダイヤルアップを設定する」32ページ、114ページ)。

メール設定画面で **設定9** [接続先/アカウント設定] ▶ **設定2** [アカウント設定] ▶

アカウント選択画面

[アカウント1]、[アカウント2]、または[Eメール]を選択し、**決定** [選択]

アカウント選択画面では、オンラインサインアップで取得したウィルコムのアカウント(△△.pdx.ne.jp) [Eメール] を含め、3つのアカウント項目が表示されます。



以下の項目から選択します。表示される項目は、選択したアカウントにより異なります。

受信行数制限設定 お買い上げ時： 「OFF」	▶ 設定1 「ON」 または 設定2 「OFF」 受信する一通あたりのメールデータ量(行数)を制限するかどうかを選択します。受信行数を少なく設定することで、通信料を低くおさえることができます。制限を超えるデータは削除された状態で受信します。このため、添付ファイルの表示/再生ができなかったり、添付ファイルの一部が本文に文字化けして表示されることがあります。				
受信行数 お買い上げ時： 「600」	受信行数制限設定を 設定1 「ON」 に設定したときに、受信するメールの行数を入力します。入力できる数値は0~999までです。				
Eメール削除設定 お買い上げ時： 「削除」	▶ 設定1 「保存」 または 設定2 「削除」 Eメール受信時にサーバーのメールを削除するかどうかの設定をします。受信しきれないデータ量のメールを受信したとき、メールサーバー上のメールは削除され、受信し直すことはできません。				
返信先アドレス お買い上げ時： 「OFF」	▶ 設定1 「ON」 または 設定2 「OFF」 お客様からの送信メールを、受信した相手先から返信するときのEメールアドレスを設定するかどうかを選択します。				
返信先アドレス入力	返信先アドレスを 設定1 「ON」 に設定したときに、返信先Eメールアドレスを入力します。入力できる文字数は(半角64文字まで)。複数のEメールアドレスを入力するときは、Eメールアドレスを「」(カンマ) で区切ります。				
メッセージ引用 お買い上げ時： 「>なしで引用する」	▶ 設定1 「>付で引用する」、 設定2 「>なしで引用する」、または 設定3 「引用しない」 メール返信/転送時に、返信元のメールの本文を自動的に引用して挿入するかどうかの設定をします。引用した本文は、返信/転送メール本文の文字数にカウントされます。				
署名設定 お買い上げ時： 「付加しない」	<table border="1"> <tbody> <tr> <td> 署名 </td> <td> ▶ 設定1 「付加する」 または 設定2 「付加しない」 メール本文に署名を付加するかどうかを選択します。Eメール作成時に反映される署名は、接続先(92ページ)に設定されている送信メールアカウントの署名です。返信メール作成時に反映される署名は、「From」に設定されている接続先(92ページ)の送信メールアカウントの署名です。 </td> </tr> <tr> <td> 署名入力 </td> <td> 署名を設定1 「付加する」 に設定したときに、メール本文に付加する署名を入力します(全角128文字、半角256文字まで)。 </td> </tr> </tbody> </table>	署名	▶ 設定1 「付加する」 または 設定2 「付加しない」 メール本文に署名を付加するかどうかを選択します。Eメール作成時に反映される署名は、接続先(92ページ)に設定されている送信メールアカウントの署名です。返信メール作成時に反映される署名は、「From」に設定されている接続先(92ページ)の送信メールアカウントの署名です。	署名入力	署名を 設定1 「付加する」 に設定したときに、メール本文に付加する署名を入力します(全角128文字、半角256文字まで)。
署名	▶ 設定1 「付加する」 または 設定2 「付加しない」 メール本文に署名を付加するかどうかを選択します。Eメール作成時に反映される署名は、接続先(92ページ)に設定されている送信メールアカウントの署名です。返信メール作成時に反映される署名は、「From」に設定されている接続先(92ページ)の送信メールアカウントの署名です。				
署名入力	署名を 設定1 「付加する」 に設定したときに、メール本文に付加する署名を入力します(全角128文字、半角256文字まで)。				
差出人名称 お買い上げ時： 「未設定」	メール送信時に相手先で表示されるお客様の名前を設定します(全角16文字、半角32文字まで)。半角カタカナは使用できません。署名は送信メール本文の文字数にカウントされます。				

メール自動受信機能*1	ウィルコムが提供するEメールのアカウント（△△.pdx.ne.jp）で、Eメール自動受信通知を受信したときの動作を設定します。あらかじめオンラインサインアップを行ってから設定を行ってください。		
	Eメール自動受信機能 お買い上げ時： 「ON」	▶ ☑1 「ON」 または ☑2 「OFF」 新しいEメールがメールサーバーに届いたときにEメールを自動で受信するかどうかを選択します（オンラインサインアップで「Eメール自動受信」の設定をした場合のみ）。	
	自動受信回数設定 お買い上げ時： 「1回」	▶ ☑1 「1回」、☑2 「2回」、または☑3 「3回」 Eメール自動受信機能を「ON」に設定したときに、Eメール自動受信サーバーへのお問い合わせ回数を設定します。	
	Eメール自動受信履歴 メールを自動受信した履歴を一覧表示します。履歴を削除するには、機能リセットまたはオールリセットを行ってください（「登録内容や各機能の設定をリセットする」163ページ）。		
メールサーバー設定*2	センタ名称設定 メールサーバーの名称を入力します（半角16文字まで）。		
	メールアドレス 自分のメールアドレスを入力します（半角64文字まで）。		
	送信サーバー（SMTP） SMTPサーバーのアドレスを入力します（半角64文字まで）。		
	受信サーバー（POP） POPサーバーのアドレスを入力します（半角64文字まで）。		
	アカウント名 メールサーバーで利用者を識別するために使用するアカウント名（ユーザ名）を入力します（半角64文字まで）。		
	パスワード メールサーバーにアクセスするときに必要なパスワードを入力します（半角128文字まで）。		
	サーバー詳細設定*3 お買い上げ時： SMTPポート番号： 「25」 POPポート番号： 「110」 SMTP認証： 「OFF」 POPbeforeSMTP： 「ON」 POPbeforeSMTP 待ち時間： 「2」 認証方式設定： 「POP」	SMTP	SMTPサーバーのポート番号を入力します。入力できるポート番号は0～65535までです。
		POP	POPサーバーのポート番号を入力します。入力できるポート番号は0～65535までです。
		SMTP認証	▶ ☑1 「ON」 または ☑2 「OFF」 送信メールサーバーに接続する際、SMTP認証を行うかどうかを設定します。
		POPbefore SMTP	▶ ☑1 「ON」 または ☑2 「OFF」 メール送信時に、サーバー側でPOPbeforeSMTPによる認証が用いられる場合☑1「ON」に設定します。
POPbefore SMTP待ち時間		POPbeforeSMTPを☑1「ON」に設定したときに、POPサーバーとの接続後、SMTPサーバーに接続するまでの秒数を入力します。設定できる待ち時間は0～60秒までです。	
認証方式設定		▶ ☑1 「POP」 または ☑2 「APOP」 POP認証時にAPOP認証を行うかどうかを設定します。	

*1：オンラインサインアップで取得したウィルコムのアカウント「Eメール」でのみ選択できます。

*2：オンラインサインアップで取得したウィルコムのアカウント「Eメール」の場合は、設定を変更することができません。

*3：「サーバー詳細設定」の詳細については、プロバイダーにお問い合わせください。



- Eメール作成時に反映される署名は、設定されている送信メールアドレス（92ページ）の署名です。
- 返信メール作成時に反映される署名は、「From」に設定されている送信メールアドレスです。

接続先を設定する

E メール

メール設定画面で 「接続先/アカウント設定」を押す

以下の項目から選択します。

<p>1 メール接続先</p>	<p>▶ 1 「接続先1」、2 「接続先2」、または3 「CLUB AIR-EDGE」</p> <p>複数のアカウントを登録している場合、メールの接続先を選択します。接続先を設定するには、「ダイヤルアップを設定する」(32ページ、114ページ)をご参照ください。</p>
<p>2 アカウント設定</p>	<p>署名、差出人名など、アカウントごとの各種設定をします。また、追加アカウントもここから登録します(「アカウントごとの各種設定をする」90ページ)。</p>
<p>3 Eメール送受信設定</p> <p>1 送信メールアドレス</p> <p>お買い上げ時： 「Eメール」</p>	<p>▶ 1 「メールアカウント1」～3 「Eメール」</p> <p>複数のアカウントを登録している場合、メールを送信するアカウントを選択します。</p>
<p>2 受信メールアドレス</p> <p>お買い上げ時： 「Eメール」</p>	<p>▶ 1 「メールアカウント1」～3 「Eメール」 ▶ 1 「ON」または2 「OFF」</p> <p>複数のアカウントを登録している場合、メールを受信するアカウントを選択します。アカウントを複数選択した場合は、一括受信となります。</p>

ご注意

- 送信/受信メールアドレスは、追加アカウントを登録していない場合、設定の必要はありません。
- オンラインサインアップで取得したウィルコムアカウントの送受信を行う場合は、メール接続先を「CLUB AIR-EDGE」に設定してください。

お知らせ

- 送信/受信メールアドレスの設定で表示されるアカウント名は、「アカウント設定」で登録した名前で表示、または登録したものだけが表示されます。

ライトメールの設定をする

L1 メール

メール設定画面で 「ライトメール設定」を押す

以下の項目から選択します。

<p>1 ライトメール送達確認音</p> <p>お買い上げ時： 「ON」</p>	<p>▶ 1 「ON」または2 「OFF」</p> <p>ライトメールの送信成功時に確認音が鳴るかどうかを設定します。</p>
<p>2 ライトメールメッセージ引用</p> <p>お買い上げ時： 「OFF」</p>	<p>▶ 1 「ON」または2 「OFF」</p> <p>ライトメール返信時に、返信元のメールの本文を自動的に引用して挿入するかどうかを設定します。引用した本文は、返信メール本文の文字数にカウントされます。</p>

受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

受信したメールを、指定したフォルダに自動的に振り分けて保存することができます。ドメインを指定することはできません。

お買い上げ時：
未設定

メール設定画面で

振り分け条件
一覧画面

1 【振り分け条件設定】 ▶ 【メニュー】 ▶ 【新規作成】

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

メール種別	Eメール	Eメールで振り分けます。
	ライトメール	ライトメールで振り分けます。
メールアカウント	「メール種別」で 「Eメール」を選択したときに、メールアカウントを選択します。	
送信者	メールアドレス*1	メールアドレスで振り分けます。
	電話番号*2	電話番号で振り分けます。
	グループ	グループで振り分けます。
	すべての送信者	すべての送信者を振り分けます。
送信者アドレス	「送信者」で 「メールアドレス」を選択した場合は、ここに入力します（半角64文字まで）。	
グループ	「送信者」で 「グループ」を選択した場合は、ここで選択します。	
フォルダ	振り分けるフォルダを選択します。	

*1: 「メール種別」で 「Eメール」を選択したときのみ表示されます。

*2: 「メール種別」で 「ライトメール」を選択したときのみ表示されます。



2 【登録】または 【登録】

ご注意

●「送信者アドレス」は、設定したメールアドレスと完全一致の場合のみ有効となります。

● 便利な設定を使う

■ 振り分け条件一覧画面のメニューを使う

振り分け条件一覧画面で **振り分け条件を選択** ▶ 【メニュー】

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

新規作成	受信したメールを指定したフォルダに自動的に振り分けて保存します（「受信メールを自動的にフォルダに振り分ける」同ページ参照）。
編集*1	▶ 編集したい項目を選択 ▶ 編集し、 【登録】 ▶ 「はい」または 「いいえ」 登録した振り分け条件設定を編集します。 「はい」を押すと上書き保存されます。 「いいえ」を押すと追加保存されます。
削除*1	▶ 「1件」、 「選択」、または 「全件」 選択した振り分け条件設定を削除します（「各機能の情報を削除する」185ページ）。
優先順位変更*1*2	▶ 振り分け条件の順位を選択し、 【選択】 振り分け条件の優先順位を変更します。上記手順で選択した振り分け条件の1つ上位に設定されます。

*1: 振り分け条件が1件も登録されていない場合は選択できません。

*2: 振り分け条件の登録が1件のみの場合は選択できません。

インターネットの使いかた

● はじめてインターネットを使うときは

オンラインサインアップをする

お買い上げ後は必ずオンラインサインアップ（無料）を行っていただく必要があります。オンラインサインアップを行わない場合、インターネットを利用することができません。オンラインサインアップの詳細については、簡単操作ガイド「オンラインサインアップをする」（28ページ）をご参照ください。

● インターネット機能について



WX310Kに搭載されたOperaブラウザ（「Operaブラウザについて」95ページ）によって、簡単な操作でWebページをお楽しみいただけます。

- Webページから画像やメロディをダウンロードし、WX310Kで画像やメロディを壁紙や着信メロディとして利用することができます（「ダウンロードのしかた」99ページ）。
- ウィルコム社の「CLUB AIR-EDGE」にアクセスすることで、ウィルコムの電話向けに作られたさまざまなコンテンツをお楽しみいただけます（「Operaブラウザを起動し、CLUB AIR-EDGEにアクセスする」97ページ）。
- 「Opera制限」（160ページ）が設定されている場合は、ご利用の際に暗証番号を入力する必要があります。
- 一般プロバイダーを利用したインターネットへのアクセスも可能です（「ダイヤルアップを設定する」32ページ、114ページ）。

● ご注意

- インターネットの説明ページで本書に掲載されている画面のレイアウトや表示内容は、ひとつの例であり、変更される場合があります。
- Webページには、一部の方に不快感を与えるものも存在します。ご利用に関してはご注意ください。よろしくお願いいたします。
- Webページの表示は、電波状況やインターネットの混雑によって時間がかかる場合があります。
- パケット方式でインターネットに接続すると、お客様が加入するコースによってはパケットを送受信するたびに料金が発生しますのでご注意ください。料金について詳しくはウィルコムにお問い合わせください。
- インターネット上のコンテンツサービスやWebページの文章、画像、メタデータなどは、一般的に著作権法で保護されています。これらの内容は個人として楽しむ以外に著作権者の許可を得ずそのまま、または変更して販売したり、再配布することはできません。
- PIAFS方式でインターネットに接続すると、接続中は通信料金が発生しますのでご注意ください。料金について詳しくはウィルコムにお問い合わせください。

● お知らせ

- OperaブラウザでWebページを表示するときサーバーから受信した情報は、WX310Kに一時的に保存されます。これをキャッシュとします。
 - ・ OperaブラウザからWebページにアクセスするとメインディスプレイに「」が点滅します。Operaブラウザが起動している間（キャッシュから表示したり、「保存ページ」（106ページ）を表示する場合を含む）は、「」が表示されます。


セキュリティ通信について

Operaブラウザでは特別な操作なしで、SSL (Secure Sockets Layer) やTLS (Transport Layer Security) に対応したWebページを表示することができます。SSLやTLSに対応したページを利用すると、例えば、お買い物をするとき、お客様の住所や電話番号、クレジットカード番号などの大事な個人情報をWX310Kから送信しても、第三者に見られたり、盗まれたりしないよう保護されます。

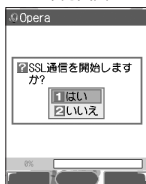
● ご注意

- 当社は、お客様に対しSSL/TLS対応ページの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。お客様ご自身の責任と判断により、SSL/TLS対応ページをご利用ください。



- Operaブラウザは、URLが「https://～」で始まるWebページにアクセスしたときに、SSL/TLS対応ページと判断し、SSL/TLSの認証が完了すると、画面上に「」を表示してお知らせします。また、SSL/TLS対応ページから通常のページへ移動する場合や、逆に通常のページからSSL/TLS対応ページへ移動する場合、SSL/TLS通信を開始/終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- SSL/TLSページにアクセスするために必要なCA証明書について、Opera(WEB)メニューから確認したり、有効/無効を設定することができます（「Operaブラウザの環境設定」110ページ）。

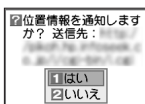
SSL通信開始 確認画面



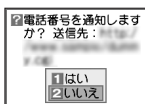
■ 端末情報の通知

Webページによってはサービスの提供のために、お客様の位置情報、電話番号、メールアドレスの通知を要求する場合があります。このような場合には、情報を送信するかどうかの確認画面を表示して注意を促します。

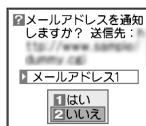
位置情報通知画面



電話番号通知画面



メールアドレス通知画面



- インターネット上で端末情報（電話番号やEメールアドレスなど）を送信すると、場合によっては第三者に知られてしまう可能性があります。あらかじめご了承ください。
- インターネット上には、上記の場合のほかにも、お客様のメールアドレスなどを入力できる掲示板などが存在しますが、個人情報の取扱いには十分にご注意ください。
- 確認画面は実際と異なる場合があります。

● Operaブラウザについて

Operaブラウザは、携帯電話やウィルコム等の電話向けに作成されたWebページのほか、パソコン向けに作成されたWebページも表示することができます。



- パソコン向けのWebページでは、一部表示できない場合があります。また、インターネット上のCGI（掲示板など、ブラウザからの要求でサーバーに保存されたプログラムを実行するしくみ）では、一部利用できない場合があります。
- お客様のご利用環境や個別の情報サービスの内容まで保証致しかねますので、Webページの検証や動作保証は致しません。お客様の責任においてご利用ください。

表示モード

Operaブラウザには、多くのWebページを快適に表示するため、以下の3種類の表示モードが用意されています。


- ・「ケータイモード」
- ・「フルスクリーンモード」
- ・「スモールスクリーンモード」

各表示モードによってWebページの表示のしかたが異なります。お好みの表示モードに切り替えてご利用ください。

どの表示モードで表示しているかを画面上部のピクトの種類でお知らせします。表示モードの切り替えはOperaメニュー、またはWebページ表示中に行うことができます（「Opera (WEB) メニューからの環境設定」110ページ、「Operaブラウザの表示モードを切り替える」99ページ）。

ケータイモード

画面上部に「」が表示されます。


WebページをWX310Kの画面サイズに合わせ、Webページの内容をすべて、幅240ドットに固定して表示します（画像も最大240ドット幅に縮小されます）。このモードでは、を押すだけでWebページをスクロールして表示できます。ただし、フレームを表示しません。





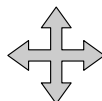
スクロール方向



フルスクリーンモード

画面上部に「」が表示されます。


Webページの内容をすべて、幅640ドットに固定して表示します。このモードでは、とを使い上下左右にページをスクロールして表示できます。フレームで分割されたページもそのまま表示できますが、ページ上のほとんどの要素がメインディスプレイ表示幅を超えて表示されるため、全体を把握できない場合があります。フレームで分割されたページの場合、「フレーム切り替え」でフレームを移動したり、1つのフレームのみを選択し新しいページとして表示させることができます（「Webページから移動する」106ページ）。




スクロール方向



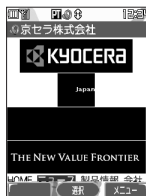
スモールスクリーンモード

画面上部に「」が表示されます。

WebページをWX310Kの画面サイズに合わせ、Webページの内容をすべて、幅240ドットにフォーマットし直して表示します（画像も最大240ドット幅に縮小されます）。このモードでは、を押すだけでWebページをスクロールして表示できます。また、フレームで分割されたページの場合、「フレーム切り替え」で1つのフレームを選択し、単ページでのみ表示させることができます（「Webページから移動する」106ページ）。



スクロール方向



ご注意

- 表示モードを変更すると、Webページによっては、表示できない場合があります。

お知らせ

- フレームページを表示中は、タイトルに「」が表示されます。

● Operaブラウザの基本操作

Operaブラウザの起動と終了

■ Operaブラウザを起動し、CLUB AIR-EDGEにアクセスする

Operaブラウザを起動し、ウィルコムが提供するポータルサイト「CLUB AIR-EDGE」にアクセスします。

待受画面で  ▶  **「公式サイト」**

● ご注意

- 「CLUB AIR-EDGE」にアクセスできない場合は、Opera接続先を「CLUB AIR-EDGE」に設定し、ユーザーエージェントを「WILLCOM」に設定してください（「Webページ表示中の環境設定」112ページ）。

● お知らせ

- Webページ表示中のCLUB AIR-EDGEへのアクセスは、以下の手順で行います（ユーザーエージェントの設定にご注意ください）。

Webページ表示中に  **【メニュー】** ▶  **「移動」** ▶  **「公式サイト」**


- 通信中のメール受信設定を「起動」にしていると、インターネット利用中でもEメール/ライトメールが受信できます（「通信中のメール受信を設定する」173ページ）。

■ Operaブラウザを終了する

Webページ表示中に  を2回押す

Operaブラウザを終了します。

● お知らせ

-  を1回押すと、表示画面はそのままオフラインになります。

Operaブラウザでの主なキー操作について

Operaブラウザを使ってインターネットにアクセスしたときのキー操作は、以下のとおりです。

	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーカスを移動します。 ・表示を上下に移動します。 	
	「ケータイモード」および「スモールスクリーンモード」の場合	「戻る」の役割をします。
	「フルスクリーンモード」の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーカスを移動します。 ・表示を左に移動します。
	「ケータイモード」および「スモールスクリーンモード」の場合	「進む」の役割をします。
	「フルスクリーンモード」の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーカスを移動します。 ・表示を右に移動します。
	フォーカス/表示を画面単位で上下に移動します。	
	「戻る」の役割をします。WX310Kは表示したWebページの履歴を20件まで記録しており、すでに表示した前のページを表示することができます。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・待受画面からOpera(WEB)メニュー(102ページ)を表示します。 ・待受画面から長く(1秒以上)押しと「ホーム」に設定されたページを表示します。 ・Webページ表示中に押しと、「スモールスクリーンモード」、「フルスクリーンモード」、または「ケータイモード」への切り替えができます(「Operaブラウザの表示モードを切り替える」99ページ)。 	
	CLUB AIR-EDGEなど、ウィルコムの子会社や携帯向けのページで、数字付きのメニューが表示されている場合は、該当項目を選択します。文字入力にも使用します。	
	「選択/決定」の役割をします。リンクなどにフォーカスを合わせた後、画面下部中央の操作ガイド表示エリアが【選択】や【OK】と表示されている場合に使用します。	
	表示画面はそのままでオフラインになります。オフライン状態で再度を押すと、Webページの表示を中止し、呼び出し元の画面に戻ります。	
	Webページ表示中に、画面下部左端の操作ガイド表示エリアが【戻る】や【中止】になっている場合に使用します。	
	Webページ表示中に、便利な操作ができるメニューを表示します。画面下部右端の操作ガイド表示エリアが【メニュー】などになっている場合に使用します。	
	(シャッター/メモ) Webページの表示を1段階拡大します。	
	(Lock) Webページの表示を1段階縮小します。	

お知らせ

- 「ケータイモード」、「スモールスクリーンモード」でWebページを表示しているときは、Webページ表示中のリンクやボタンなどが左右に並んでいる場合でもで選択します。
- は、以下のようなWebページ上の表示に対しての決定ボタンとしても操作できます。

テキストボックス	チェックボックス	ラジオボタン	プルダウンメニュー
で目的のテキストボックスを選択し、 【選択】 ▶ 文字を入力	で目的のチェックボックスを選択し、 【選択】	で目的のラジオボタンを選択し、 【選択】	で目的のプルダウンメニューを選択し、 【選択】 ▶ 項目を選択し、 【選択】

Operaブラウザの表示モードを切り替える

Webページを表示中に、表示モードを切り替えます。表示モードは画面上のピクトの種類でお知らせします(「表示モード」96ページ)。

Webページ表示中に



▶ [F1] 「ケータイモード」、▶ [F2] 「フルスクリーンモード」、

または▶ [F3] 「スモールスクリーンモード」



- 表示モードの切り替えは、Operaメニューからも行えます(「Opera (WEB) メニューからの環境設定」110ページ)。



ダウンロードのしかた

Operaブラウザからインターネット上の画像やメロディをダウンロードします。WX310Kに対応した以下のファイル形式であれば、画像やメロディを壁紙や着信メロディとしてご使用いただけます。

- ・ダウンロードしたデータは、データの種類に応じてデータフォルダに保存されます(「保存できるデータの種類」127ページ)。
- ・インターネット上の画像やメロディの著作権を保護する目的で、データの一部には以下のような使用上の制限が課せられている場合があります。
 - ・Opera接続中にのみ再生が可能で、データフォルダへの保存はできない
 - ・ダウンロードしデータフォルダへの保存は可能だが、データフォルダから転送やEメール添付して送信することはできない
- ・WX310Kでは再生、利用できないデータもダウンロードできます。

データ種別	Operaブラウザで表示/再生できるファイル形式
画像	JPEG、GIF、BMP、PNG
メロディ	feelsound(64和音)、MIDI (SMFフォーマット0/1対応)

例：Webページ上にあるMIDIデータをダウンロードする

MIDIデータにフォーカスを合わせた状態で



[選択]



▶ [F1] 「はい」

保存ファイル名を入力し、 [確定]



- インターネット上のコンテンツサービスやWebページの文章、画像、メロディデータなどは、一般的に著作権法で保護されています。これらの内容は個人として楽しむ以外に著作権者の許可を得ずそのまま、または改変して販売したり、再配布することはできません。
- ダウンロードした画像のファイル形式によっては、WX310Kの最大表示色数で表示されない場合があります。また、WX310Kのディスプレイ性能により、画像ファイルの持つ色を完全に表現できない場合があります。
- MIDIの形式によっては、正しく再生できないものもあります。
- WX310Kに保存した画像、メロディ、ページやブックマークなどの登録内容は消えることがあります。万一、登録内容が消失した場合でも当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- すでにデータフォルダに保存されているデータと同様の名前のデータをダウンロードした場合は警告メッセージが表示されます。この場合はデータ名を編集して保存することができます(下記「お知らせ」参照)。



- Webページ上で、ダウンロードを目的とせずに掲載されている画像やBGMも保存できる場合があります(「Webページから保存する」105ページ)。
- 画像の場合は、画像そのものかサムネイル表示がリンクになっている場合があります。
- 保存確認画面の表示は、データの種類によって異なります。WX310Kで未対応のデータをダウンロードした場合や、音楽データなどへのリンクを選択したときは、保存確認画面で「はい」を選択します。
- データを保存する際に、データ名をお好みに編集することができます。

保存確認画面
(MIDIの場合)



↓
ファイル保存画面



ブックマークについて

繰り返しアクセスしたいお気に入りのページをブックマークに登録しておく、次回から簡単な操作で、登録したページにアクセスすることができるようになります（「ブックマークに登録したWebページにアクセスする」同ページ参照）。





■ 表示中のWebページをブックマークに登録する

Webページを表示中に、表示しているページを「ブックマーク」に登録できます。ブックマークは100件まで登録できます。

Webページ表示中に

1 [メニュー] ▶ 「ブックマーク登録」

以下の項目から選択します。

 (ブックマークNo.)	▶ ブックマークNo. (00~99) を入力し、 <input checked="" type="radio"/> 【選択】 ブックマークNo.を設定します。設定時には、00~99で空いている一番小さいブックマークNo.が自動的に表示されますが、変更することもできます。
 フォルダ登録	▶ フォルダを選択し、 <input checked="" type="radio"/> 【選択】 ブックマークに登録するフォルダを設定します。
 (タイトル)	▶ タイトルを入力または修正する ブックマークのタイトルを設定します。現在表示中のWebページのタイトルが自動的に表示されますが、タイトルを変更することもできます（全角、半角共に40文字まで）。
 URL (URL)	▶ URLを入力または修正する ブックマークのURLを設定します。現在表示中のWebページのURLが自動的に表示されますが、URLを変更することもできます（半角255文字まで）。




2 【登録】 または 【登録】

ご注意

- すでに100件のブックマークが登録されている場合は、警告メッセージが表示された後ブラウザ画面に戻ります。
- データフォルダに保存したWebページはブックマークに登録できません。

お知らせ

- ブックマークNo.の入力は以下の操作でも行えます。

空いている一番小さいブックマークNo.に登録するとき	▶  を押す
十の位を指定して、一番小さいブックマークNo.に登録するとき	▶  (十の位) ▶ 



- 登録したブックマークの内容は、変更することができます（「ブックマークを編集する」109ページ）。

■ ブックマークに登録したWebページにアクセスする（ブックマーク一覧）

ブックマークに登録したWebページは、「ブックマーク一覧」（108ページ）で一覧表示し、選択して接続することができます。

待受画面で ▶ 「ブックマーク」 ▶ フォルダを選択 ▶ ブックマークを選択し、 【接続】

お知らせ

- Webページ表示中に、ブックマーク一覧を呼び出してアクセスするには、以下の手順で行います。
Webページ表示中に  【メニュー】 ▶  「ブックマーク一覧」 ▶ フォルダを選択 ▶ ブックマークを選択し、 【接続】

Webページ上の情報を利用する

表示しているWebページ上にURLのリンクがある場合、そのURLを選択して 【選択】 を押すと、そのURLにジャンプします。Webページ上にEメールアドレスや電話番号のリンクがある場合には以下のように操作します。

Webページ表示中に **電話番号またはEメールアドレスへのリンクを選択し、 【選択】**

■Eメールアドレスの場合

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 Eメール作成	<input type="checkbox"/> <input type="radio"/> 【選択】 を押す	
	Web表示を中断し、選択したリンク先のEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメールを作成して送信する」74ページ）。	
<input type="checkbox"/> 2 アドレス帳へ登録	<input type="checkbox"/> 1 新規	選択したリンク先のEメールアドレスをアドレス帳に新規登録します（「アドレス帳の各項目を登録する」60ページ）。
	<input type="checkbox"/> 2 追加	<input type="checkbox"/> アドレス帳を選択し、 <input type="radio"/> 【選択】 <input type="checkbox"/> 登録先を「Eメールアドレス1~3」から選択し、 <input type="radio"/> 【選択】 <input type="checkbox"/> 【登録】 または <input type="checkbox"/> 【登録】 <input type="checkbox"/> 1 「はい」 すでに登録されているアドレス帳データに、Eメールアドレスを追加登録します。

上記項目の利用後は、Webページ表示画面に戻ります。

■電話番号の場合

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 発信	<input type="checkbox"/> <input type="radio"/> 【発信】 を押す	
	選択したリンク先の電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。	
<input type="checkbox"/> 2 ライトメール作成	選択したリンク先の電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」78ページ）。	
	<input type="checkbox"/> 3 アドレス帳へ登録	<input type="checkbox"/> 1 新規
	<input type="checkbox"/> 2 追加	<input type="checkbox"/> アドレス帳を選択し、 <input type="radio"/> 【選択】 <input type="checkbox"/> 登録先を「電話番号1~3」から選択し、 <input type="radio"/> 【選択】 <input type="checkbox"/> 【登録】 または <input type="checkbox"/> 【登録】 <input type="checkbox"/> 1 「はい」 すでに登録されているアドレス帳データに、電話番号を追加登録します。

位置情報通知機能のL機能（180ページ）が「ON」に設定され、Webページが位置情報を要求している場合は、位置情報付き電話番号リンクメニュー画面が表示されます。発信を行うと、通話先に位置情報が通知されます。

上記項目の利用後は、Webページ表示画面に戻ります。

リンク先の電話番号に電話をかけたとき、 を押すごとに通話中の画面とWebページの画面を切り替えることができます。ただし、通話中に画面をWebページに切り替えても、Web操作は行えません。

● Opera(WEB)メニューについて

Operaブラウザを起動したときに表示されるOpera(WEB)メニューでは、さまざまな方法でWebページにアクセスしたり、環境設定をしたりすることができます。

Operaブラウザのメニューについて

待受画面で  を押す

Opera(WEB)
メニュー





以下の項目から選択します。

①公式サイト	CLUB AIR-EDGEにアクセスします（「Operaブラウザを起動し、CLUB AIR-EDGEにアクセスする」97ページ）。	
②ホーム	「ホーム」に登録したページにアクセスします。	
③ブックマーク	ブックマーク一覧を表示し、一覧からブックマークに登録しているWebページにアクセスします（「ブックマークに登録したWebページにアクセスする」100ページ）。	
④URL入力	URLを入力してアクセスします。入力履歴を利用することもできます（「URLを入力または入力履歴からアクセスする」103ページ）。	
⑤ページ履歴	①ページ履歴一覧	<p>▶ 一覧から履歴を選択し、【接続】</p> <p>以前にアクセスしたWebページを表示します。ページ履歴一覧には、以前にアクセスしたWebページが20件まで記録されます。20件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。</p>
	②削除	<p>▶ ①「はい」を押す</p> <p>ページ履歴をすべて削除します。</p>
⑥保存ページ	保存したページの一覧を表示します（「保存ページから表示する」106ページ）。	
⑦オンラインサインアップ	オンラインサインアップを行ったり、登録内容を確認したりすることができます（「オンラインサインアップをする」28ページ、70ページ）。	
⑧設定	Operaブラウザの環境設定をします（「Opera(WEB)メニューからの環境設定」110ページ）。	





お知らせ

- Opera(WEB)メニューを表示するには、以下の手順でも行えます。

待受画面で  ▶ 「Opera(WEB)」を選択し、

- ② 「ホーム」には、お買い上げ時に「京セラオリジナルサイトK」が登録されていますが、お客様のお好みに変更することができます（「Webページ表示中の環境設定」112ページ）。

- ② 「ホーム」に設定したページにアクセスするには、以下の手順でも行えます。

待受画面からアクセスする場合	待受画面で  を長く（1秒以上）押す
メインメニューからアクセスする場合	待受画面で  ▶ 「Opera(WEB)」を選択し、  ▶ ② 「ホーム」
Webページ表示中にアクセスする場合	Webページ表示中に  【メニュー】 ▶ ④ 「移動」 ▶ ⑧ 「ホーム」

■ URLを入力または入力履歴からアクセスする

URLを直接入力し、Webページにアクセスすることができます。WX310Kから入力したURLの履歴は20件まで記録されています。その履歴を使ってアクセスしたり、履歴を編集してアクセスしたりすることもできます。

- ・URLに入力できる文字数は、半角255文字までです。
- ・URL入力画面では、「http://」は省略して入力することもできます。

待受画面で **【URL入力】**








以下の項目から選択します。

URLを新たに入力する場合	▶ 「新規作成」を選択し、 <input type="radio"/> 【選択】▶ URLを入力し、 <input type="checkbox"/> 【接続】
履歴をそのまま使う場合	▶ 一覧から履歴を選択し、 <input type="radio"/> 【選択】▶ <input type="checkbox"/> 【接続】
履歴を編集する場合	▶ 一覧から履歴を選択し、 <input type="radio"/> 【選択】▶ URLを編集し、 <input type="checkbox"/> 【接続】

URL履歴一覧画面



お知らせ

- Webページ表示中にURLを入力して他のページにアクセスするには、以下の手順で行います。
Webページ表示中に  【メニュー】▶  「移動」▶  「URL入力」▶ 「新規作成」を選択し、【選択】▶ URLを入力し、【接続】
- URL入力履歴が20件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。
また、URL履歴一覧画面で任意に削除するには、以下の手順で行います。
URL履歴一覧画面で履歴を選択▶  【削除】▶  「1件」、 「選択」、または 「全件」
以降の手順については「各機能の情報を削除する」(185ページ)をご参照ください。

Webページ表示中のメニューについて

Webページ表示中にはメニューからさまざまな操作ができます。

Webページ表示中のメニュー

Webページ表示中に

 **[メニュー]** を押す



以下の項目から選択します。

1 進む	Webページ履歴の次のページに進みます。	
2 更新	表示しているWebページを最新の状態に更新します。	
3 ブックマーク一覧	ブックマーク一覧を表示し、一覧から登録しているWebページにアクセスします（「ブックマークに登録したWebページにアクセスする」100ページ）。	
4 移動	表示しているWebページから他のページにアクセスしたり、Webページ内の検索などを行うことができます（「Webページから移動する」106ページ）。	
5 ブックマーク登録	現在表示しているページをブックマーク一覧に追加します（「表示中のWebページをブックマークに登録する」100ページ）。	
6 保存	表示しているWebページ、Webページの背景画像、選択したWebページ上の画像、またはBGMをWX310Kに保存します（「Webページから保存する」105ページ）。	
7 文字コード お買い上げ時： 「自動選択」	1 自動選択	通常は 1 「自動選択」がご利用いただけますが、Webページによっては表示文字が文字化けを起こしてしまう場合があります。その際は、文字コードを変更してください。文字コードの設定は表示しているページにのみ適用され、ブラウザを終了したり、他のページを表示したりすると 1 「自動選択」に戻ります。
	2 Shift-JIS	
	3 EUC-JP	
	4 ISO-2022-JP	
8 ページ情報	1 URL表示	表示しているWebページについて以下の情報を表示します。 ・ページタイトル（全角、半角共に255文字まで） ・URL（半角255文字まで） ・ページ全体サイズ
	2 サーバー証明書	アクセスしたWebページ（サーバー）に登録されているCA証明書の詳細を表示します。SSL対応ページにアクセスしている場合のみ有効です。
9 設定	Operaブラウザの環境設定をします（「Webページ表示中の環境設定」112ページ）。	
0 Flash設定*	Webページ上のFlashデータを再生したときの操作や、再生方法、サイズの変更などを設定します（「インタラクティブ再生時のメニューを使う」206ページ）。	






















*：FLASHプレイヤーを追加した場合のみ表示されます（「Flashを再生する」205ページ）。

■ Webページから保存する

Webページに表示されている画像やBGM、また、Webページ全体を保存します。Webページはデータフォルダの「インターネットフォルダ」に保存され、インターネットに接続しないで表示することができます。

Webページ表示中のメニューで 「保存」を押す

以下の項目から選択します。

 ページ (全体)	<p>▶ 保存ページ名を入力または修正し、 【確定】</p> <p>Webページを保存します。保存したWebページは「保存ページ」(106ページ) からインターネットに接続せずに表示できます。</p>				
 画像	<p>▶ 画像を選択し、 【保存】 ▶ 保存画像名を入力または修正し、 【確定】</p> <p>表示しているWebページ内の画像を選択し、保存します。Webページ中に画像がある場合にのみ有効です。また、画像の拡張子として認識できない場合もあります。</p> <p>・画像の選択中は、Webページ上のリンクが無効になり、他の操作ができない状態になります。また、通常のWebページ表示での操作とは以下のような違いがあります。</p>				
	<table border="1"> <tr> <td> 【キャンセル】 または </td> <td>通常のWebページ表示に戻ります。</td> </tr> <tr> <td> または </td> <td>Webページ上にある画像を上から下に、左から右に順番に選択します。</td> </tr> </table>	 【キャンセル】 または 	通常のWebページ表示に戻ります。	 または 	Webページ上にある画像を上から下に、左から右に順番に選択します。
 【キャンセル】 または 	通常のWebページ表示に戻ります。				
 または 	Webページ上にある画像を上から下に、左から右に順番に選択します。				
 背景画像	<p>▶ 保存画面名を入力し、 【確定】</p> <p>表示しているWebページの背景画像を保存します。Webページ中に背景画像がある場合にのみ有効です。</p>				
 BGM	<p>▶ 保存BGM名を入力または修正し、 【確定】</p> <p>表示しているWebページのBGMを保存します。Webページ上にBGMがある場合のみ有効です。</p>				

ご注意

- Webページを保存する場合も含め、著作権法で保護された画像やメロディは保存できないことがあります。保存できた場合でも、Eメールに添付したり、データ転送でパソコンに送信することはできません。
- データフォルダの空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除して空き容量を確保してください(「データを削除する」132ページ)。また、すでに同じ名前のデータがある場合は、上書き確認メッセージが表示されます。
- この機能で保存を行う場合は、Webページ上のリンク先データのダウンロードはできません。

お知らせ

- Webページの保存では、Opera(WEB)設定で「画像表示」や「BGM再生」が「OFF」になっている場合は画像やBGMが表示/再生されない状態で保存されます(「Operaブラウザの環境設定」110ページ)。
 - ・「スモールスクリーン」で表示している場合、Webページの保存時に表示しているフレームに関係なく、Webページを構成するすべてのフレームが保存されます。
 - ・保存、再生できるファイル形式は、以下のとおりです。

画像	BMP、JPEG、GIF (GIFアニメも保存可能です)、PNG
BGM	feelsound (64和音)、MIDI (SMFフォーマット0/1対応)

- ダウンロードしたファイルによっては、再生するためにアプリケーションの追加が必要です(「アプリケーションの追加」204ページ)。
- 「ケータイモード」や「スモールスクリーンモード」で縮小表示された画像や、「ズーム」(112ページ)で拡大/縮小した画像は、元の大きさで保存されます。

インターネットの使いかた

■ 保存ページから表示する

保存したページはデータフォルダの「インターネットフォルダ」に保存されており、インターネットに接続することなく、Webページを表示することができます。表示した場合も、ブラウザのキャッシュには保存されません。

待受画面で **【再生】** データフォルダ画面 (インターネット)

● ご注意

● 保存ページは、保存した時点でのWebページです。このため、最新の情報ではない場合があります。

● お知らせ

- データフォルダから保存ページを表示するには、以下の手順で行います。
待受画面で ▶ **「データフォルダ」** を選択し、 **【インターネット】** ▶ **保存ページ** を選択し、 **【再生】**
- データフォルダ画面 (インターネット) で一覧から保存ページを削除するには、以下の手順で行います。
データフォルダ画面 (インターネット) で保存ページを選択し **【メニュー】** ▶ **【削除】** ▶ **【1件】**、 **【選択】**、または **【フォルダ】**
以降の手順については「各機能の情報を削除する」(185ページ)をご参照ください。



■ Webページから移動する

Webページ表示中に他のページにアクセスすることができます。

Webページ表示中のメニューで **【移動】**を押す

以下の項目から選択します。

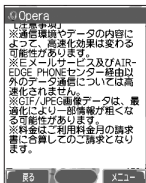
【ページ履歴】	<p>▶ 一覧から履歴を選択し、 【接続】</p> <p>以前にアクセスしたWebページを表示します。 ページ履歴一覧には、以前にアクセスしたWebページが20件まで記録されます。20件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。</p>
【データフォルダ】	データフォルダにアクセスします。(「データフォルダの使いかた」126ページ)。
【ページの先頭】	表示しているWebページの先頭に表示を移動します。
【ページの最後】	表示しているWebページの最後に表示を移動します。
【ページ内検索】	<p>▶ キーワードを入力し、 【確定】</p> <p>キーワードを入力し、表示中のWebページ上から入力したキーワードと同様の単語/文章を検索します (全角、半角共に128文字まで)。</p>
【フレーム切り替え*	<p>■ フレームを移動する場合</p> <p>▶ フレームを選択し、 【選択】</p> <p>■ 1つのフレームを選択し新しいページとして表示する場合</p> <p>▶ フレームを選択し、 【表示】</p> <p>表示モードによっては、フレームページを表示している場合、フレームを移動したり1つのフレームのみを選択し新しいページとして表示させることができます。(「表示モード」96ページ)。</p>
【URL入力】	URLを入力してアクセスします。入力履歴を利用することもできます。(「URLを入力または入力履歴からアクセスする」103ページ)。
【ホーム】	「ホーム」に登録したページにアクセスします。(「Opera (WEB) メニューについて」102ページ)。
【公式サイト】	CLUB AIR-EDGEにアクセスします。(「Opera ブラウザを起動し、CLUB AIR-EDGEにアクセスする」97ページ)。

*：フレームページを表示しているときのみ、選択できます。フレームページを表示しているときはタイトルに「」が表示されます。

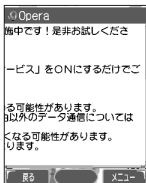
お知らせ

- 検索の操作をしている間は、Webページ上のリンクが無効になり、他の操作ができない状態になります。
- Webページの先頭または最後を表示する際に、「ケータイモード」／「スモールスクリーンモード」の場合は、一番上の表示が先頭、一番下が最後となります。「フルスクリーンモード」の場合は、ページ全体の左上端の表示範囲が先頭になり、右下端の表示範囲が最後となります。

「ケータイモード」／「スモールスクリーンモード」の場合



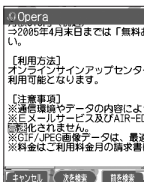
「フルスクリーンモード」の場合



- ページ内検索は現在のリンク位置から行います。現在のフォーカス位置から前／次を検索したい場合は、以下の手順で行います。

検索結果表示画面で 【前を検索】 / 【次を検索】 を押す
ページ内検索を中止したいときは、 【キャンセル】 を押します。

(例：検索結果表示画面)



- 新しいページとしてフレームページを表示した後に 【戻る】、 を押すと、前のフレームページへ戻ることができます。

●ブックマーク一覧について

「ブックマーク一覧」には、ブックマークを100件まで登録できます。これらは、任意に名前を付けることができる20個のフォルダに振り分けて管理することができます。また、登録したブックマークは、編集や削除などを行なうことができます。

「ブックマーク一覧」は、待受画面からも、Webページ表示中にも表示できます。

ブックマーク一覧画面

待受画面から表示する	待受画面で [F4] ▶ [F3] 「ブックマーク」
Webページ表示中に表示する	Webページ表示中に [F3] 【メニュー】 ▶ [F3] 「ブックマーク一覧」



ブックマーク一覧画面のメニューを使う

ブックマーク一覧で、ブックマークを選択しているときには、ブックマークの編集や削除などの管理ができます。

ブックマーク一覧画面で **ブックマークを選択** ▶ **[F3]** 【メニュー】

以下の項目から選択します。

[F1] 新規登録	新しくブックマークを登録します（「表示中のWebページをブックマークに登録する」100ページ）。	
[F2] 詳細表示	実際にアクセスするURLなど、ブックマークの詳細を表示します。詳細表示画面で [F4] 【接続】を押すと、登録されているURLに接続します。	
[F3] 並び替え	[F1] アクセス順	最近アクセスした順で表示します。
	[F2] No.順	登録したブックマークNoの順で表示します。
[F4] フォルダ名変更	▶ フォルダ名を修正し、 [F4] 【確定】 選択したフォルダのフォルダ名を変更します（全角、半角共に20文字まで）。	
[F7] 編集	ブックマークを編集します。フォルダ間の移動もできます（「ブックマークを編集する」109ページ）。	
[F9] マイオリジナルへ登録	選択したブックマークをマイオリジナルへ登録します（「マイオリジナルを使う」46ページ）。	
[F0] 登録件数表示	現在のブックマークの登録件数および登録可能件数を表示します。	
[F8] 削除	▶ [F1] 「1件」、 [F2] 「選択」、 [F3] 「フォルダ内」、または [F4] 「全件」 ブックマークを削除します（「各機能の情報を削除する」185ページ）。	

[F8] ● ご注意

- **[F8]** 「削除」では、お買い上げ時に登録されているブックマークも削除できます。「メモリリセット」（163ページ）を行うと、ブックマークはお買い上げ時の状態に戻ります。

[F1] ● お知らせ

- **[F1]** 「新規登録」を選択したときは、URLを入力する必要があります。ブックマークの編集と同様の手順で必要項目を入力してください（「ブックマークを編集する」109ページ）。

■ブックマークを編集する

ブックマークのブックマークNo.、登録先フォルダ、タイトル、URLを編集します。

ブックマーク一覧画面のメニューで

1 「編集」を押す

以下の項目から選択します。

(ブックマークNo.)	▶ 【選択】 ▶ ブックマークNo. (00~99) を編集し、 【選択】 ブックマークNo.を編集します。
フォルダ登録	▶ 【選択】 ▶ フォルダを選択し、 【選択】 登録先フォルダを選択します。登録先フォルダを編集すると、ブックマークをお好みのフォルダに移動できます。
(タイトル)	▶ タイトルを編集する ブックマークのタイトルを編集します (全角、半角共に40文字まで)。
(URL)	▶ URLを編集する URLを編集します (半角255文字まで)。

2 【登録】 または 【登録】

ご注意

- 同一ブックマークNo.を複数のブックマークに付けることはできません。
- 入力したタイトル/URLのブックマークが、ブックマーク一覧にすでにある場合は、追加登録確認画面が表示されます。新たなブックマークNo.に登録するには、追加登録確認画面で 「はい」を押します。

お知らせ

- ブックマークNo.の入力は以下の操作でも行えます。

空いている一番小さいブックマークNo.に登録するとき	▶ を押す
十の位を指定して、一番小さいブックマークNo.に登録するとき	▶ ~ (十の位) ▶

● Operaブラウザの環境設定

Opera (WEB)メニューからの環境設定

インターネットにアクセスする前に、あらかじめOpera (WEB)メニューから環境設定を行うことができます。

待受画面で  ▶  **【設定】**

設定メニュー
(Opera (WEB)
メニュー時)



以下の項目から選択します。

【1】画像表示 お買い上げ時： 「ON」	▶ 【1】「ON」 または 【2】「OFF」 Webページ上の画像を表示するかどうかを選択します。
【2】BGM再生 お買い上げ時： 「ON」	▶ 【1】「ON」 または 【2】「OFF」 Webページ上のBGMを再生するかどうかを選択します。マナーモード (49ページ) の場合は設定にかかわらずBGMは再生しません。 【1】「ON」 に設定しても、アプリケーションを必要とするBGMの場合は再生できません。
【3】Flash*1	▶ 【1】「ON」 または 【2】「OFF」 Flashを再生するアプリケーションを追加した場合、Webページ上でFlashを再生するかどうかを選択します (「Flashを再生する」205ページ)。
【4】Cookie お買い上げ時： 「する」	▶ 【1】「する」 または 【2】「しない」 Cookieとは、Webページに訪れたお客様に関する情報や、訪れた日時、訪問回数などを一時的に保存しておくしくみです。サーバーからお客様のWX310Kに書き込まれて一時的に保存され、Webページやコンテンツサービスなどに利用されます。Webページやコンテンツサービスによっては 【1】「する」 に設定していないと、正常に表示/利用できない場合があります。 【2】削除 ▶ 【1】「はい」 を押す Cookieをすべて削除します。
【5】JavaScript お買い上げ時： 「ON」	▶ 【1】「ON」 または 【2】「OFF」 JavaScriptとは、Webページに動きや対話性を付加するためのスクリプト言語です。Webページによっては 【1】「ON」 にしないと正常に表示されない場合があります。
【6】表示モード お買い上げ時： 「ケータイモード」	▶ 【1】「ケータイモード」 、 【2】「フルスクリーンモード」 、または 【3】「スモールスクリーンモード」 Operaブラウザ起動時の表示モードを選択します (「表示モード」96ページ)。
【7】全画面表示 お買い上げ時： 「OFF」	▶ 【1】「ON」 または 【2】「OFF」 Webページをメインディスプレイの画面全体に表示にするかどうかを選択します。
【8】接続先設定	▶ 接続先を選択し 、 <input checked="" type="radio"/> 【選択】 接続先設定を行う前にダイヤルアップ設定を行ってください (「ダイヤルアップを設定する」32ページ、114ページ)。ダイヤルアップ設定後に、Operaの接続先をダイヤルアップ接続先から選択します。

⑨詳細設定 お買い上げ時： CA証明書： すべて有効 Referer： 「ON」 スピードダイヤル： 「ブックマーク」	①CA証明書	詳細を表示する場合 ▶ CA証明書を選択し、●【詳細】
		有効を設定する場合 ▶ CA証明書を選択 ▶ ③【メニュー】 ▶ ①①「有効」
		無効を設定する場合 ▶ CA証明書を選択 ▶ ③【メニュー】 ▶ ②②「無効」 ▶ ②②「はい」
	②Referer	▶ ①①「ON」または②②「OFF」 Webページのリンクから他のWebページに移動したり、ファイルをダウンロードしたとき、どのページから移動、ダウンロードしたかを相手に知らせるかどうかが設定します。
	③スピードダイヤル	①①ブックマーク ▶ ブックマークに登録したWebページにアクセス*2することができます。
	②②CCコード	CCコードに登録されているWebページにアクセス*2することができます。
⑩設定リセット	▶ 暗証番号を入力 ▶ ①①「はい」 ブラウザの環境設定をお買い上げ時の状態にリセットします。また、Cookieの内容も削除されます。	

*1：FLASHプレイヤーを追加していない場合、またはスマートフォンモード時は、①①「ON」に設定できません（「Flashを再生する」205ページ）。

*2：アクセス方法については、「スピードダイヤルでWebページにアクセスする」（43ページ）をご参照ください。

 お知らせ

- 各設定は、Operaブラウザを終了しても保持され、次回起動時にも適用されます。変更またはリセットされるまで保持されます。
- Webページ上に画像や音声に対する直接のリンクがあり、そのリンク先ページにアクセスした場合は、①①「画像表示」や②②「BGM再生」を②②「OFF」にしても、リンク先で画像や音声を表示/再生します。
- 全画面表示にすると、操作ガイドエリアが表示されなくなりますが、通常どおりキー操作できます。
- リセットされるブラウザの環境設定は、Webページ表示中のみ設定できる項目も含まれており、以下のようにリセットされます。また、Cookieの内容も削除されます。



	初期値		初期値
画像表示	ON	Referer	ON
BGM再生	ON	スピードダイヤル	ブックマーク
Cookie利用	する	ズーム	100%
JavaScript	ON	ホーム設定	京セラオリジナルサイト「K」
表示モード	ケータイモード	オートリダイレクト	ON
全画面表示	OFF	ユーザーエージェント	WILLCOM
CA証明書	すべての証明書が有効	ページ自動更新	OFF

- CCコードとは、コードコム社のコード体系に基づき発行されたコードです。

例)  310：「京セラオリジナルサイト「K」」のwebページにアクセスすることができます。

Webページ表示中の環境設定

Webページ表示中には、メニューから環境設定ができます。インターネット表示中のみ設定できる項目もあります。













Web表示中に  【メニュー】 ▶  【設定】


設定メニュー
(Web表示中)



以下の項目から選択します。

1 画像表示 お買い上げ時： 「ON」	▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 Webページ上の画像を表示するかどうかを選択します。						
2 BGM再生 お買い上げ時： 「ON」	▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 Webページ上のBGMを再生するかどうかを選択します。マナーモード (49ページ) の場合は設定にかかわらずBGMは再生しません。 1 「ON」に設定しても、アプリケーションを必要とするBGMの場合は再生できません。						
3 Flash*	▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 Flashを再生するアプリケーションを追加した場合、Webページ上でFlashを再生するかどうかを選択します (「Flashを再生する」205ページ)。						
4 表示モード お買い上げ時： 「ケータイモード」	▶ 1 「ケータイモード」、 2 「フルスクリーンモード」、または 3 「スモールスクリーン」 Operaブラウザ起動時の表示モードを選択します (「表示モード」96ページ)。						
5 全画面表示 お買い上げ時： 「OFF」	▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 Webページをメインディスプレイの画面全体に表示にするかどうかを選択します。						
6 スーム お買い上げ時： 「100%」	▶ 1 ~ 9 、 0 、 ※ (倍率を選択) 指定されたサイズにWebページを拡大/縮小して表示します。						
7 ページ自動更新 お買い上げ時： 「OFF」	▶ 1 ~ 7 (更新時間を選択) 指定された時間の間隔で自動的にWebページを更新します。						
8 ホーム設定 お買い上げ時： 「京セラオリジナルサイト "K"」	インターネットを起動したときに最初に表示されるWebページ (「ホーム」) のURLが表示されます。  【メニュー】を押すと、以下の操作が行えます。						
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 今のページを設定</td> <td>現在表示しているページを「ホーム」に登録します。</td> </tr> <tr> <td>2 編集</td> <td>「ホーム」に登録しているページのURLを編集します。</td> </tr> <tr> <td>3 リセット</td> <td>「ホーム」をお買い上げ時の状態 (「京セラオリジナルサイト "K"」) に戻します。</td> </tr> </tbody> </table>	1 今のページを設定	現在表示しているページを「ホーム」に登録します。	2 編集	「ホーム」に登録しているページのURLを編集します。	3 リセット	「ホーム」をお買い上げ時の状態 (「京セラオリジナルサイト "K"」) に戻します。
1 今のページを設定	現在表示しているページを「ホーム」に登録します。						
2 編集	「ホーム」に登録しているページのURLを編集します。						
3 リセット	「ホーム」をお買い上げ時の状態 (「京セラオリジナルサイト "K"」) に戻します。						

 BGM音量変更 お買い上げ時： 「音量レベル3」	▶ 「音量レベル 1」～「音量レベル 5」または「OFF」から 選択し、  [OK] Webページ上のBGM再生音量を選択します。マナーモードの場合は設定にかかわらずBGMは再生しません。データ再生音で設定した音量が設定されています。
 オートリダイレクト お買い上げ時： 「ON」	▶  「ON」または  「OFF」 自動的にWebページを更新（リフレッシュ）／移動（リダイレクト）するように設定されたWebページを表示したとき、リフレッシュ／リダイレクトするかどうかを設定します。表示モードを「ケータイモード」に設定した場合、リフレッシュは無効、リダイレクトは有効になります。
 ユーザーエージェント お買い上げ時： 「WILLCOM」	▶  「WILLCOM」または  「Opera」 ページが表示されなかったときのユーザーエージェントを「WILLCOM」または「Opera」に切り替えます。「ケータイモード」のときは「WILLCOM」固定となります。
 JavaScript お買い上げ時： 「ON」	▶  「ON」または  「OFF」 JavaScriptとは、Webページに動きや対話性を付加するためのスクリプト言語です。Webページによっては  「ON」にしないと正常に表示されない場合があります。

* : Flashを再生するアプリケーションを追加していない場合、またはスモールスクリーンモード時は、 「ON」に設定できません。

 お知らせ

- 各設定は、特別に記載しているもの以外、Operaブラウザを終了しても保持され、次回起動時にも適用されません。変更またはリセットされるまで保持されます。

●ダイヤルアップを設定する

WX310Kは、一般のプロバイダーからWebページに接続したり、お客様の会社などのネットワークに接続することができます。

- ・別途、一般プロバイダーとのご契約が必要です。ダイヤルアップ設定につきましては、各プロバイダーにお問い合わせください。
- ・プロバイダー側がAIR-EDGEに対応しているかご確認ください。詳しくはウィルコムまたは各プロバイダーにお問い合わせください。

● ご注意

- ダイヤルアップは、Eメールのアカウントとは別に設定する必要があります。

ダイヤルアップを設定／編集する（ダイヤルアップ設定） 機能番号93

ダイヤルアップの設定は、ご契約のプロバイダーから取得した情報をもとに、以下の手順で行います。WX310Kでは最大2つまでの追加アカウントを登録しておくことができます。

待受画面で



ダイヤルアップ 設定画面



2 ①「接続先1」、②「接続先2」、または③「CLUB AIR-EDGE」

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

①接続先名称	ダイヤルアップ接続先にお好みの名前を付けることができます（全角、半角共に16文字まで）。		
②電話番号	ダイヤルアップ接続するアクセスポイントの電話番号を入力します（32桁まで）。ご利用のデータ通信方式に合わせ、下記のとおり電話番号の末尾に付加番号を入力してください。 ##61（1xバケット方式） ##64（4xバケット方式） ##7（フレックスチェンジ方式） ##4（64kPIAFS） ##3（32kPIAFS）		
③ユーザーID	接続時に使用するログイン名（ユーザーID）を入力します（半角64文字まで）。		
④パスワード	接続時に使用するパスワードを入力します（128文字まで）。記号の入力については「記号／定型文／絵文字／顔文字を入力する」（56ページ）をご参照ください。		
⑤分計発信 お買い上げ時： 「OFF」	▶ ①「ON」または②「OFF」 分計発信するかどうかを設定します（「料金分計サービスについて」200ページ）。ただし、バケット方式では、分計発信を行うことができません。		
⑥詳細設定	①IPアドレス自動取得 お買い上げ時： 「ON」	①ON	サーバーからIPアドレスを自動取得します。
		②OFF	プロバイダーから割り当てられたIPアドレスを入力します。
	②IPアドレス	IPアドレス自動取得を②「OFF」に設定した場合、ここにIPアドレスを入力します。	
③DNS自動取得 お買い上げ時： 「ON」	①ON	サーバーからDNSアドレスを自動取得します。	
	②OFF	プライマリDNSとセカンダリDNSを設定します。	

	☑4プライマリDNS	DNS自動取得を☑2「OFF」にした場合、プライマリDNSアドレスを設定します。
	☑5セカンダリDNS	DNS自動取得を☑2「OFF」にした場合、セカンダリDNSアドレスを設定します。
	☑6データ圧縮 お買い上げ時： 「OFF」	▶ ☑1「ON」または☑2「OFF」 データ圧縮を行うかどうかを設定します。
☑7プロキシ設定	☑1プロキシ利用 お買い上げ時： 「OFF」	▶ ☑1「ON」または☑2「OFF」
	☑2プロキシサーバー名	プロキシ利用を☑1「ON」にした場合、プロキシサーバー名を入力します（半角64文字まで）。
	☑3プロキシポート番号	プロキシ利用を☑1「ON」にした場合、プロキシポート番号を入力します。
	☑4プロキシ認証 お買い上げ時： 「OFF」	▶ ☑1「ON」または☑2「OFF」 プロキシ利用を☑1「ON」にした場合、プロキシ認証を☑1「ON」または☑2「OFF」に設定します。
	☑5プロキシID	プロキシ認証を☑1「ON」にした場合、プロキシIDを入力します（半角64文字まで）。
	☑6プロキシパスワード	プロキシ認証を☑1「ON」にした場合、プロキシパスワードを入力します（半角128文字まで）。
☑8ヘルプ*	(電話番号)	ウィルコムサービスセンターに電話をかけます。
	(Eメールアドレス)	ウィルコムサービスセンターを宛先としたEメール作成画面が表示されます（「Eメールを作成して送信する」74ページ）。

*：☑3「CLUB AIR-EDGE」を選択したときのみ表示されます。また、電話番号/Eメールアドレスは「なし」が表示される場合があります。

 お知らせ

- 手順2で☑3「CLUB AIR-EDGE」を選択時に編集できる項目は☑2「電話番号」、☑5「分計発信」、☑6「詳細設定」、☑7「プロキシ設定」、☑8「ヘルプ」のみです。
- 「CLUB AIR-EDGE」の編集については、今後のサービス向上のため、アクセスポイントの電話番号やプロキシ設定に変更のご連絡があった場合のみ編集を行ってください。
- ダイヤルアップ設定については簡単操作ガイドにも記載があります（「ダイヤルアップ設定をする」32ページ）。
- ☑6「データ圧縮」は、Windowsで使われているソフトウェアによる圧縮（CCP圧縮）と同様の機能です。ウィルコムでサービス中の高速化サービス、MEGA PLUSとは異なる圧縮機能です。接続先がCCP圧縮に対応していればご利用いただけます。対応しているかどうかについては、ご利用のプロバイダーにご確認ください。対応していない場合は、☑6「データ圧縮」を☑2「OFF」にしてください。

3 各項目を入力し、【登録】または【登録】